

平成28年度

ステージラボ

～公共ホール等企画運営ワークショップ～

事業報告書

一般財団法人 地域創造

目 次

I	事業概要	
1	実施にあたって	3
2	あらまし	3
3	開催実績	5
4	都道府県別参加状況	9
II	平成28年度事業	
1	事業概要	13
2	参加者の属性	14
3	コーディネーター・講師一覧	16
4	スタッフ一覧	18
5	実施日程（参加者募集～研修実施の流れ）	19
III	ステージラボ 上田セッション	
1	研修スケジュール	23
2	各コースについて	
(1)	ホール入門コース	27
(2)	自主事業Ⅰ（音楽）コース	33
(3)	自主事業Ⅱ（演劇）コース	38
3	共通プログラム	42
IV	ステージラボ 豊田セッション	
1	研修スケジュール	45
2	各コースについて	
(1)	ホール入門コース	49
(2)	自主事業Ⅰ（音楽）コース	55
(3)	自主事業Ⅱ（演劇）コース	64
3	共通プログラム	69
V	参加者リスト	
○	ステージラボ 上田セッション	73
○	ステージラボ 豊田セッション	83

I 事業概要

1 実施にあたって

劇場・ホールの運営については、ハードウェア（施設）、ソフトウェア（活動）、ヒューマンウェア（人材、組織、職能）の3要素が一体不可分なものとして、相互にバランスよく結びついたものとして存在しなければなりません。

一般財団法人地域創造では、地域の公共ホール・劇場、美術館や地方公共団体で文化・芸術に携わる職員の方々を対象とする研修交流事業を実施し、ソフトウェアを支えるヒューマンウェアの確立という課題面から、地域における創造的な芸術環境づくりをサポートしています。

平成28年度は、上田セッション、豊田セッションを開催するとともに、東京・赤坂で「公立ホール・劇場 マネージャーコース」を「文化政策幹部セミナー」と同時開催しました（別冊報告書）。上田セッションと豊田セッションでは、全国各地から115名の方々に参加いただき、研修を通してソフトウェアに関する諸課題の検討を進めてきました。

ヒューマンウェアをめぐる課題は、地域やホール毎に様々な形で存在しています。このため、効果的な方法論を短時間に見いだすことはなかなか困難なことではありますが、地域創造ではステージラボという研修手法を通じて、今後とも全国各地の公共ホール、劇場、美術館、地方公共団体関係者の方々と、この課題の検討を進めていきたいと考えております。

2 あらまし

（1）事業目的

- ① 公共ホール・劇場、美術館や地方公共団体などの芸術環境づくりに取り組む役職員を対象とした実践的研修とネットワークの形成の場の提供
- ② 研修の実践を踏まえた人材育成プログラムのあり方の探求

（2）事業内容

① 運営方針

ステージラボは、地域における文化・芸術の創造拠点（アーツセンター）となる公共ホール、劇場の企画・制作や事業運営に関わる役職員を対象に、職務内容、階層に応じた実践的研修プログラムにより実施しています。

研修内容の主目的は、地域社会と文化・芸術をどうつなぐかというアートマネジメント論に立った施設運営の探求と、施設間の連携（ネットワークづくり）による効果的な芸術支援（育成）の環境を整えることにあります。

② 研修内容

公共ホール、劇場、美術館及び地方公共団体の文化・芸術に携わる職員を対象として、4日間程度の密度の濃い集中研修とし、双方向のコミュニケーションが可能な少人数のゼミ形式で実施。

原則として、参加者の業務内容、経験度等に合わせたコース設定（1セッション3コース程度）とし、ワークショップ、グループディスカッション、レクチャーコンサート、シンポジウムなどを取り入れたプログラムで構成。

③ 開催回数及び実施時期

ステージラボ：原則年度 2 回 年度の前半及び後半に各 1 回ずつ

④ 会場

全国各地の公共ホールや劇場などにおいて実施

(3) 研修実施方法

ステージラボの実施方法は以下のとおりです。

① 集中ゼミの実施

3～4 日間の日程に密度の濃いカリキュラムで実施。

② 研修参加者の経験度にあわせたコース設定・プログラム構成

研修効果を高めるため、担当業務の内容、経験年数ならびに職務階層別のカリキュラム体系を編成。また、参加者の問題意識や参加ニーズは、参加応募時にアンケートを提出いただき、参加者の抱える課題に応じたゼミ内容に努めている。

③ 参加者の能動的参加を促し、双方向のコミュニケーションを導き出す

一方的な講義とならないよう、少人数形式を採用。事前課題、グループディスカッション等を用い、参加者自らの積極的な参加意識を高める。

④ 実体験に触れるプログラムの提供

ワークショップ、レクチャーコンサート等を通して、実演芸術のあり方を肌で感じる機会を設けている。

⑤ 具体的な事業、運営への活用

業務遂行のための単なるノウハウ伝授の場とならぬよう、研修で得られた内容を日常業務のさまざまな場面でのヒントにいただき、情報交流事業による情報交換、相談の場の提供などのアフターフォロー体制を敷いている。

3 開催実績

【ステージラボ・アートミュージアムラボ等開催実績】

年度	セッション名	開催日時	会場	参加者数	設定コース	
平成6年度	埼玉セッション	平成 6年 11月 30日 ～ 12月 2日	彩の国さいたま 芸術劇場 (埼玉県与野市：現さいたま市)	65名	基礎コース 音楽コース 演劇ダンスコース	23名 23名 19名
	宮崎セッション	平成 7年 2月 28日 ～ 3月 3日	宮崎県立芸術劇場 (宮崎県宮崎市)	56名	基礎コース 音楽コース 演劇コース	18名 19名 19名
平成7年度	水戸セッション	平成 7年 6月 6日 ～ 6月 10日	水戸芸術館 (茨城県水戸市)	52名	ステージ業務入門コース ステージ創造環境コース ステージ鑑賞共感コース	21名 12名 19名
	広島セッション	平成 8年 2月 27日 ～ 3月 1日	アステールプラザ (広島県広島市)	76名	基礎コース 音楽コース 演劇コース	23名 33名 20名
平成8年度	盛岡セッション	平成 8年 7月 2日 ～ 7月 5日	盛岡劇場 (岩手県盛岡市)	59名	ホール事業入門コース 音楽事業コース 演劇事業コース	21名 18名 20名
	福岡セッション	平成 8年 11月 19日 ～ 11月 22日	アクロス福岡 (福岡県福岡市)	60名	基礎準備コース ホール運営Ⅰコース ホール運営Ⅱコース	17名 22名 21名
平成9年度	松山セッション	平成 9年 8月 5日 ～ 8月 8日	松山市総合 コミュニティセンター (愛媛県松山市)	69名	ホールマネージャーコース ホール運営入門コース 自主事業(音楽)コース 自主事業(演劇・ダンス)コース	19名 20名 15名 15名
	世田谷セッション	平成10年 2月 17日 ～ 2月 20日	世田谷 パブリックシアター (東京都世田谷区)	78名	ホール計画コース ホール入門コース 演劇コース 音楽コース	17名 26名 16名 19名
平成10年度	札幌セッション	平成10年 6月 23日 ～ 6月 26日	札幌芸術の森 (北海道札幌市)	69名	ホールマネージャーコース ホール入門コース 演劇コース 音楽コース	14名 20名 15名 20名
	神戸セッション	平成11年 2月 2日 ～ 2月 5日	神戸アートビレッジ センター (兵庫県神戸市)	69名	ホール計画コース ホール入門コース 演劇・ダンスコース 音楽コース	15名 24名 11名 19名
平成11年度	静岡セッション	平成11年 6月 29日 ～ 7月 2日	静岡県コンベンション アーツセンター (静岡県静岡市)	66名	ホール入門コース ホール運営Ⅰコース ホール運営Ⅱコース	25名 20名 21名
	高知セッション	平成12年 2月 15日 ～ 2月 18日	高知県立美術館 (高知県高知市)	70名	ホールマネージャーコース ホール入門コース 自主事業コース 美術コース	14名 20名 21名 15名
平成12年度	金沢セッション	平成12年 7月 4日 ～ 7月 7日	金沢市民芸術村 (石川県金沢市)	81名	ホール入門コース 演劇コース 音楽コース 美術コース	26名 19名 20名 16名
	熊本セッション	平成13年 2月 20日 ～ 2月 23日	熊本県立劇場 (熊本県熊本市)	66名	ホール入門コース 運営基礎コース 演劇コース 音楽コース	19名 20名 12名 15名

年度	セッション名	開催日時	会場	参加者数	設定コース
平成13年度	仙台セッション	平成13年 7月 3日 ～ 7月 6日	仙台市青年文化センター (宮城県仙台市)	65名	ホール入門コース 23名 演劇コース 13名 音楽コース 18名 美術コース 11名
	佐世保セッション	平成14年 2月 5日 ～ 2月 8日	アルカスSASEBO (長崎県佐世保市)	60名	ホールマネージャーコース 17名 ホール入門コース 22名 演劇コース 9名 音楽コース 12名
平成14年度	岐阜セッション	平成14年 6月 25日 ～ 6月 28日	岐阜市文化センター (岐阜県岐阜市)	87名	ホール入門コース 24名 自主事業入門コース 21名 自主事業企画・制作コース 21名 ホール管理・運営コース 21名
	大分セッション	平成15年 2月 18日 ～ 2月 21日	大分県立総合文化センター (大分県大分市)	71名	ホール入門コース 23名 自主事業入門コース 20名 自主事業企画・制作コース 16名 アートミュージアムラボ 12名
平成15年度	横浜セッション	平成15年 7月 1日 ～ 7月 4日	横浜赤レンガ倉庫1号館 (神奈川県横浜市)	88名	ホール入門コース 25名 自主事業入門コース 23名 自主事業企画・制作コース 21名 アートミュージアムラボ 19名
	沖縄・佐敷セッション	平成16年 2月 3日 ～ 2月 6日	佐敷町文化センター・シュガーホール (沖縄県佐敷町)	50名	ホール入門コース 21名 自主事業コース 17名 文化政策・企画コース 12名
平成16年度	新潟セッション	平成16年 6月 22日 ～ 6月 25日	りゅーとびあ新潟市民芸術文化会館 (新潟県新潟市)	81名	ホール入門コース 24名 自主事業Ⅰ(音楽)コース 20名 自主事業Ⅱ(演劇)コース 18名 文化政策企画・文化施設運営コース 19名
	京都セッション	平成17年 2月 1日 ～ 2月 4日	京都芸術センター (京都府京都市)	69名	ホール入門コース 23名 自主事業Ⅰ(演劇)コース 13名 自主事業Ⅱ(ダンス)コース 17名 アートミュージアムラボ 16名
平成17年度	松本セッション	平成17年 7月 5日 ～ 7月 8日	まつもと市民芸術館 (長野県松本市)	77名	ホール入門コース 25名 自主事業Ⅰ(音楽)コース 14名 自主事業Ⅱ(演劇)コース 18名 文化政策企画・文化施設運営コース 20名
	三重セッション	平成18年 2月 21日 ～ 2月 24日	三重県総合文化センター (三重県津市)	51名	ホール入門コース 15名 自主事業Ⅰ(音楽)コース 19名 自主事業Ⅱ(演劇)コース 12名 アートミュージアムラボ 5名
平成18年度	長久手セッション	平成18年 7月 11日 ～ 7月 14日	長久手町文化の家 (愛知県長久手町)	65名	ホール入門コース 20名 自主事業Ⅰ(音楽)コース 16名 自主事業Ⅱ(演劇)コース 10名 文化政策企画・文化施設運営コース 19名
	高松セッション	平成19年 2月 20日 ～ 2月 23日	サンポートホール高松 (香川県高松市)	64名	ホール入門コース 19名 自主事業Ⅰ(音楽)コース 16名 自主事業Ⅱ(演劇)コース 15名 アートミュージアムラボ 14名
平成19年度	鳥取セッション	平成19年 7月 10日 ～ 7月 13日	鳥取県立県民文化会館 (鳥取県鳥取市)	62名	ホール入門コース 21名 自主事業コース 22名 文化政策企画・文化施設運営コース 19名
	東京セッション	平成20年 2月 5日 ～ 2月 8日	東京芸術劇場 (東京都豊島区)	65名	ホール入門コース 24名 自主事業Ⅰ(音楽)コース 20名 自主事業Ⅱ(ダンス)コース 10名 アートミュージアムラボ 11名

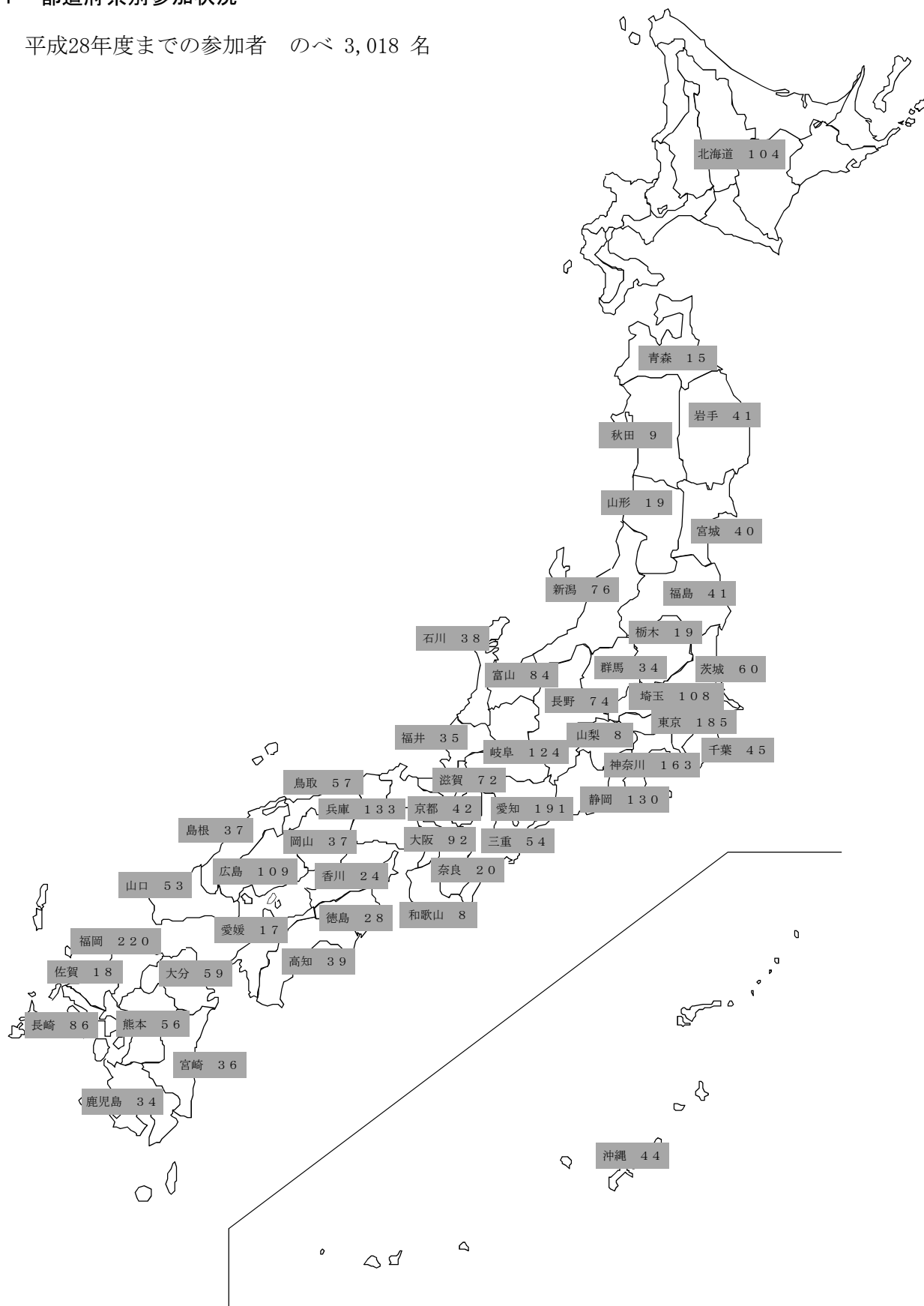
年度	セッション名	開催日時	会場	参加者数	設定コース
平成20年度	青森セッション	平成20年 7月15日 ～ 7月18日	青森市文化会館、 青森県立美術館 (青森県青森市)	57名	ホール入門コース 20名 自主事業コース 16名 文化政策企画・文化施設運営コース 11名 アートミュージアムラボ 10名
	徳島セッション	平成21年 2月 3日 ～ 2月 6日	徳島県郷土文化会館 (徳島県徳島市)	49名	ホール入門コース 21名 自主事業コース 16名 文化政策企画・文化施設運営コース 12名
平成21年度	富山・高岡セッション	平成21年 7月 7日 ～ 7月10日	富山県高岡文化ホール (富山県富山市)	57名	ホール入門コース 23名 自主事業コース 21名 アートミュージアムラボ 13名
	(東京・赤坂開催)	平成21年 9月 3日～5日	地域創造会議室	16名	公立ホール・劇場マネージャーコース 16名
	鹿児島セッション	平成22年 2月 2日 ～ 2月 5日	鹿児島県文化センター (鹿児島県鹿児島市)	55名	ホール入門コース 23名 自主事業I(音楽)コース 18名 自主事業II(演劇)コース 14名
平成22年度	群馬セッション	平成22年 7月15日 ～ 7月18日	群馬県民会館 (群馬県前橋市)	56名	ホール入門コース 21名 自主事業I(音楽)コース 20名 自主事業II(ダンス)コース 15名
	(東京・赤坂開催)	平成22年10月13日～15日	地域創造会議室	16名	公立ホール・劇場マネージャーコース 16名
	奈良セッション	平成23年 2月 1日 ～ 2月 4日	なら100年会館 (奈良県奈良市)	63名	ホール入門コース 24名 自主事業I(音楽)コース 19名 自主事業II(演劇)コース 20名
	アートミュージアムラボ 高知セッション	平成23年 3月 9日～11日	高知県立美術館(高知県高知市)	17名	アートミュージアムラボ 17名
平成23年度	(東京・赤坂開催)	平成23年10月12日～14日	地域創造会議室	18名	公立ホール・劇場マネージャーコース 18名
	アートミュージアムラボ 埼玉セッション	平成23年12月7日～9日	埼玉県立近代美術館(埼玉県さいたま市)	16名	アートミュージアムラボ 16名
	栃木セッション	平成24年 2月21日 ～ 2月24日	栃木県総合文化センター (栃木県宇都宮市)	53名	ホール入門コース 21名 自主事業I(音楽)コース 20名 自主事業II(ダンス)コース 12名
平成24年度	埼玉セッション	平成24年 7月10日 ～ 7月13日	彩の国さいたま芸術劇場 (埼玉県さいたま市)	54名	ホール入門コース 25名 自主事業I(演劇)コース 14名 自主事業II(ダンス)コース 15名
	(東京・赤坂開催)	平成24年10月31日～11月2日	地域創造会議室	15名	公立ホール・劇場マネージャーコース 15名
	兵庫セッション	平成25年 1月29日 ～ 2月 1日	兵庫県立芸術文化センター (兵庫県西宮市)	62名	ホール入門コース 23名 自主事業I(地域交流プログラム)コース 19名 自主事業II(音楽企画政策)コース 20名
	アートミュージアムラボ 静岡セッション	平成25年 3月 6日～8日	静岡県立美術館(静岡県静岡市)	11名	アートミュージアムラボ 11名
平成25年度	静岡セッション	平成24年 6月25日 ～ 6月28日	静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ (静岡県静岡市)	60名	ホール入門コース 22名 自主事業I(伝統芸能)コース 18名 自主事業II(子ども)コース 20名
	(東京・赤坂開催)	平成25年9月4日～6日	地域創造会議室	25名	公立ホール・劇場マネージャーコース 25名
	アートミュージアムラボ 宮城セッション	平成25年 12月 4日～6日	宮城県美術館(宮城県仙台市)	8名	アートミュージアムラボ 8名
	長崎セッション	平成25年 2月18日 ～ 2月21日	長崎ブリックホール (長崎県長崎市)	48名	ホール入門コース 18名 自主事業I(音楽)コース 13名 自主事業II(演劇)コース 17名
平成26年度	新潟セッション	平成26年 7月 1日 ～ 7月 4日	りゅうとびあ 新潟市民芸術文化会館 (新潟県新潟市)	58名	ホール入門コース 21名 自主事業I(音楽)コース 22名 自主事業II(舞台芸術)コース 15名
	(東京・赤坂開催)	平成26年10月15日～17日	地域創造会議室	16名	公立ホール・劇場マネージャーコース 16名
	アートミュージアムラボ 愛知セッション	平成27年 1月28日～30日	愛知芸術文化センター(愛知県名古屋)	12名	アートミュージアムラボ 12名
	広島セッション	平成27年 2月17日 ～ 2月20日	アステールプラザ (広島県広島市)	47名	ホール入門コース 20名 自主事業I(音楽)コース 14名 自主事業II(演劇)コース 13名

年度	セッション名	開催日時	会場	参加者数	設定コース
平成27年度	札幌セッション	平成27年 7月 7日 ～ 7月10日	札幌市教育文化会館 (北海道札幌市)	43名	ホール入門コース 17名 事業入門コース 10名 音楽コース 16名
	(東京・赤坂開催)	平成27年10月6日～8日	地域創造会議室	17名	公立ホール・劇場マネージャーコース 17名
	北九州セッション	平成28年 2月16日 ～ 2月19日	北九州芸術劇場 (福岡県北九州市)	48名	ホール入門コース 20名 音楽コース 15名 演劇コース 13名
平成28年度	上田セッション	平成28年 7月 5日 ～ 7月 8日	サントミューゼ 上田市交流文化芸術センター (長野県上田市)	56名	ホール入門コース 21名 自主事業Ⅰ(音楽)コース 17名 自主事業Ⅱ(演劇)コース 18名
	(東京・赤坂開催)	平成28年10月12日～14日	地域創造会議室	15名	公立ホール・劇場マネージャーコース 15名
	豊田セッション	平成29年 2月21日 ～ 2月24日	(愛知県豊田市)	59名	ホール入門コース 20名 自主事業Ⅰ(音楽)コース 22名 自主事業Ⅱ(演劇)コース 17名

3,018 名 (豊田セッション終了時点での修了者)

4 都道府県別参加状況

平成28年度までの参加者 のべ 3,018 名



Ⅱ 平成28年度事業

1 事業概要

(1) ステージラボ 上田セッション

開催期日	平成 28 年 7 月 5 日 (火) ~7 月 8 日 (金)
開催会場	サントミュージゼ 上田市交流文化芸術センター (長野県上田市天神 3 丁目 15 番 15 号)
開催体制	主催：一般財団法人地域創造 共催：上田市
対象者	「ホール入門コース」 公立ホール・劇場（開館準備のための組織を含む）において、業務経験年数 1 年半未満（開館準備のための組織にあつては年数不問）の職員。 「自主事業Ⅰ（音楽）コース」 自主事業を実施している公立ホール・劇場で、音楽の自主事業に積極的に取り組みたいと考えている、業務経験年数が 2~3 年程度の職員。 「自主事業Ⅱ（演劇）コース」 自主事業を実施している公立ホール・劇場で、演劇の自主事業に積極的に取り組みたいと考えている、業務経験年数が 2~3 年程度の職員。

(2) ステージラボ 豊田セッション

開催期日	平成 29 年 2 月 21 日 (火) ~2 月 24 日 (金)
開催会場	豊田市民文化会館 (愛知県豊田市小坂町 12-100)
開催体制	主催：一般財団法人地域創造 共催：豊田市、公益財団法人豊田市文化振興財団
対象者	「ホール入門コース」 公立ホール・劇場（開館準備のための組織を含む）において、業務経験年数 1 年半未満（開館準備のための組織にあつては年数不問）の職員。 「自主事業Ⅰ（音楽）コース」 自主事業を実施している公立ホール・劇場で、音楽の自主事業に積極的に取り組みたいと考えている、業務経験年数が 2~3 年程度の職員。 「自主事業Ⅱ（演劇）コース」 自主事業を実施している公立ホール・劇場で、演劇の自主事業に積極的に取り組みたいと考えている、業務経験年数が 2~3 年程度の職員。

2 参加者の属性

(1) 上田セッション

コース名	ホール入門	自主事業Ⅰ (音楽)	自主事業Ⅱ (演劇)	合計
参加者数	21	17	18	56

参考：参加申込者数56名

①都道府県別

	入門	自主事業Ⅰ	自主事業Ⅱ	合計
北海道	1			1
青森	1			1
岩手		1	1	2
宮城	1			1
秋田				
山形				
福島	1	2	1	4
茨城	1	1	1	3
栃木			1	1
群馬	1		1	2
埼玉	1	1	1	3
千葉				
東京	1	1	1	3
神奈川		1		1
新潟			1	1
富山				
石川				
福井		1		1
山梨				
長野	2	1	2	5
岐阜	1		1	2
静岡				
愛知	3	1	4	8
三重			1	1
滋賀				
京都			1	1
大阪	1			1
兵庫		1		1
奈良				
和歌山				
鳥取		1		1
島根				
岡山	1			1
広島		2		2
山口				
徳島	1			1
香川				
愛媛				
高知	1			1
福岡	1		1	2
佐賀				
長崎				
熊本		1		1
大分		1		1
宮崎	1	1		2
鹿児島				
沖縄	1			1
合計	21	17	18	56

②採用形態別

	入門	自主事業Ⅰ	自主事業Ⅱ	合計
公務員	9	2	4	15
指定管理者	12	15	14	41
その他				
合計	21	17	18	56

③性別

	入門	自主事業Ⅰ	自主事業Ⅱ	合計
男	10	8	8	26
女	11	9	10	30
合計	21	17	18	56

④年代別

	入門	自主事業Ⅰ	自主事業Ⅱ	合計
20代	11	8	11	30
30代	6	6	5	17
40代	3	3	2	8
50代	1			1
合計	21	17	18	56

(2) 豊田セッション

コース名	ホール入門	自主事業Ⅰ (音楽)	自主事業Ⅱ (演劇)	合計
参加者数	20	22	17	59

参考：参加申込者数59名

①都道府県別

	入門	自主事業Ⅰ	自主事業Ⅱ	合計
北海道	2	1	1	4
青森				
岩手		2		2
宮城				
秋田				
山形				
福島	1	1	1	3
茨城		1		1
栃木		1	1	2
群馬				
埼玉		1	1	2
千葉				
東京		1		1
神奈川	1	1		2
新潟	1			1
富山		1		1
石川				
福井	1			1
山梨				
長野				
岐阜				
静岡	2		2	4
愛知	4	3	5	12
三重				
滋賀			1	1
京都				
大阪	1	1		2
兵庫	3	3	3	9
奈良				
和歌山				
鳥取	1	2		3
島根				
岡山		1		1
広島	1	1		2
山口				
徳島				
香川				
愛媛				
高知				
福岡	1	1	1	3
佐賀				
長崎			1	1
熊本	1			1
大分				
宮崎				
鹿児島				
沖縄				
合計	20	22	17	59

②採用形態別

	入門	自主事業Ⅰ	自主事業Ⅱ	合計
公務員	3	1	4	8
指定管理者	16	21	12	49
その他	1		1	2
合計	20	22	17	59

③性別

	入門	自主事業Ⅰ	自主事業Ⅱ	合計
男	4	7	10	21
女	16	15	7	38
合計	20	22	17	59

④年代別

	入門	自主事業Ⅰ	自主事業Ⅱ	合計
20代	13	12	10	35
30代	5	8	4	17
40代	2	1	3	6
50代		1		1
合計	20	22	17	59

3 コーディネーター・講師一覧

(1) ステージラボ 上田セッション

【コーディネーター】

○ホール入門コース

大月 ヒロ子（有限会社アイデア代表取締役／国立歴史民俗博物館客員准教授）

○自主事業Ⅰ（音楽）コース

小澤 櫻作（上田市交流文化芸術センター プロデューサー

／公益財団法人北九州市芸術文化振興財団 音楽事業アドバイザー）

○自主事業Ⅱ（演劇）コース

渡辺 弘（彩の国さいたま芸術劇場 事業部長）

【講師】

○ホール入門コース

嵯峨 創平（岐阜県立森林文化アカデミー）

隅地 茉歩（セレノグラフィカ）

阿比留修一（セレノグラフィカ）

三宅航太郎（うかぶL L C）

蛇谷 りえ（うかぶL L C）

○自主事業Ⅰ（音楽）コース

田澤 拓朗（上田市交流文化芸術センター）

中川 賢一（ピアニスト／指揮者）

岩崎 正裕（劇団太陽族主宰／AI・HALL（伊丹市立演劇ホール）ディレクター）

佐藤 博樹（上田市交流文化芸術センター）

隅地 茉歩（セレノグラフィカ）

阿比留修一（セレノグラフィカ）

○自主事業Ⅱ（演劇）コース

津村 卓（上田市交流文化芸術センター 館長／一般財団法人地域創造プロデューサー）

大澤 寅雄（ニッセイ基礎研究所芸術文化プロジェクト室 准主任研究員）

南波 圭（俳優）

大堀久美子（ライター）

柳沼 昭徳（烏丸ストロークロック 代表）

内藤 裕敬（劇作家・演出家／南河内万歳一座 座長）

○共通プログラム

福井 健策（弁護士）

(2) ステージラボ 豊田セッション

【コーディネーター】

○ホール入門コース

林 健次郎（公益財団法人愛知県文化振興事業団 愛知県芸術劇場 企画制作部長代理
兼 広報・マーケティンググループ チーフマネージャー）

○音楽コース

榎本 広樹（公益財団法人新潟市芸術文化振興財団 りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館
事業企画部 音楽企画課長）

○演劇コース

岩崎 正裕（劇作家・演出家、劇団太陽族主宰、AI・HALL（伊丹市立演劇ホール）ディレクター）

【講師】

○ホール入門コース

米本 一成（公益財団法人かすがい市民文化財団 総務グループ マネジャー
／施設サービスグループマネジャー）

丹羽 功（公益財団法人名古屋市文化振興事業団 名古屋市芸術創造センター 館長）

糸山 勝人（長久手市文化の家 事務局長）

浅野 芳夫（公益財団法人愛知県文化振興事業団 劇場運営部長）

藪田 哲也（幸田町文化振興協会 統括マネージャー）

小松 淳子（公益財団法人かすがい市民文化財団 事業推進グループ プロデューサー）

石田 正（オーボエ奏者）

小室 真美（オーボエ奏者）

水谷 仁美（オーボエ奏者）

福田 真規（オーボエ奏者）

佐藤 美子（豊川市役所市民部文化振興課 文化振興課長／文化会館館長）

大森 千聡（公益財団法人名古屋市文化振興事業団 文化振興部総務課）

森 有理枝（サラマンカホール 事業企画部）

土江 香恵（NPO 法人武豊文化創造協会）

右田 恵子（電気文化会館（中電不動産株式会社）文化事業室 副課長）

○音楽コース

宮本 妥子（打楽器・マリンバ奏者）

中川 賢一（ピアニスト／指揮者）

富永 広紀（りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館 事業企画部 広報営業課）

井上 美穂（株式会社ルーコ 代表取締役）

○演劇コース

津村 卓（上田市交流文化芸術センター 館長／一般財団法人地域創造プロデューサー）

山口 英樹（AI・HALL（伊丹市立演劇ホール）館長）

田上 豊（劇作家・演出家/田上パル主宰）

松浦 茂之（三重県文化会館 事業課長）

油田 晃（NPO 法人パフォーミングアーツネットワークみえ 代表理事
／津あけぼの座・四天王寺スクエア プログラムディレクター）

鹿目 由紀（劇作家・演出家/劇団あおきりみかん主宰）

○共通プログラム

和光 理奈（中京大学 スポーツ科学部スポーツ教育学科講師 同大学ダンス部監督）

石川 美樹（名鉄学園杜若高等学校 保健体育科非常勤講師 同校女子ダンス部顧問）

4 スタッフ一覧

(1) ステージラボ 上田セッション

○一般財団法人地域創造

田中 敦仁 (事務局長)

佐倉 誠 (企画課長)

津村 卓 (上田市交流文化芸術センター 館長／一般財団法人地域創造プロデューサー)

宇野加奈子、上木 香奈、水上 俊秀 (事務局)

磯部 聡、三浦 文恵 (ホール入門コース)

阿比留ひろみ (自主事業Ⅰ (音楽) コース)

湯澤 智美 (自主事業Ⅱ (演劇) コース)

○サントミュージゼ 上田市交流文化芸術センター

腰原 広道 (上田市交流文化芸術センター 副館長)

馬場 道雄 (上田市交流文化芸術センター 舞台技術監督)

清住 忠広 (上田市交流文化芸術センター 副館長補佐 総務担当係長)

掛川 康督 (上田市交流文化芸術センター 広報宣伝・営業・マーケティング係長)

小泉 聡、関澤 和也、坂田 靖典 (事務局)

望月 領都、岡田 智恵、西沢 美華 (ホール入門コース)

田澤 拓朗、渡辺 智昭 (自主事業Ⅰ (音楽) コース)

横尾 慎二、柳澤 謙一 (自主事業Ⅱ (演劇) コース)

(2) ステージラボ 豊田セッション

○一般財団法人地域創造

田中 敦仁 (事務局長)

佐倉 誠 (企画課長)

津村 卓 (上田市交流文化芸術センター 館長／一般財団法人地域創造プロデューサー)

上木 香奈、宇野加奈子 (事務局)

江坂 秀晃、磯部 聡 (ホール入門コース)

清宮 寛子、水上 俊秀 (自主事業Ⅰ (音楽) コース)

小林 弘和、栗林 礼也 (自主事業Ⅱ (演劇) コース)

○豊田市民文化会館

岩月 明人 (公益財団法人豊田市文化振興財団 文化部長)

大岩 由治 (公益財団法人豊田市文化振興財団 豊田市民文化会館 所長)

梅村 法実 (公益財団法人豊田市文化振興財団 文化事業課 課長)

岡本 晴貴 (公益財団法人豊田市文化振興財団 文化事業課 副主幹)

永坂 正和 (公益財団法人豊田市文化振興財団 豊田市コンサートホール・能楽堂 副主幹)

山下 明男 (公益財団法人豊田市文化振興財団 豊田市民文化会館 係長)

原田 秀樹 (公益財団法人豊田市文化振興財団 文化事業課 係長)

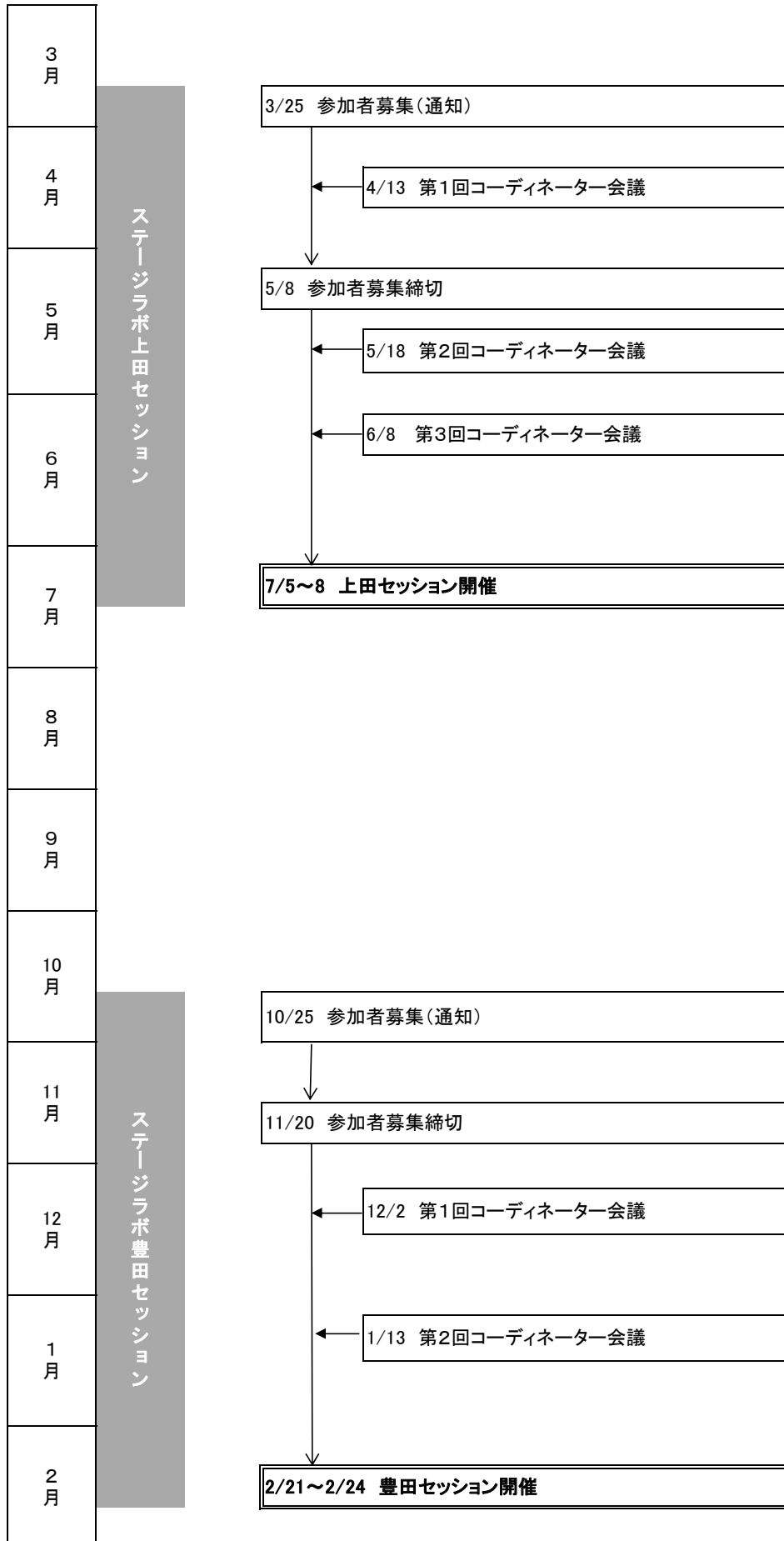
加藤 祐二 (公益財団法人豊田市文化振興財団 文化事業課 主査) (事務局)

横地 美恵、荘田 元宣 (ホール入門コース)

山村 聡志、仁科 智広 (自主事業Ⅰ (音楽) コース)

児嶋 界人、松浦 友洋 (自主事業Ⅱ (演劇) コース)

5 実施日程（参加者募集～研修実施の流れ）



Ⅲ ステージラボ

上田セッション

■7月5日(火) 第1日

【研修スケジュール】

	ホール入門コース	自主事業Ⅰ(音楽)コース	自主事業Ⅱ(演劇)コース
主会場	コーディネーター 大月 ヒロ子 有限会社アイデア代表取締役 国立歴史民俗博物館客員准教授	コーディネーター 小澤 櫻作 上田市交流文化芸術センター プロデューサー (公財)北九州市芸術文化振興財団 音楽事業アドバイザー	コーディネーター 渡辺 弘 彩の国さいたま芸術劇場 事業部長
9:00			
10:00			
11:00			
12:00			
13:00			
14:00	13:30 受付		
14:00	14:00 オリエンテーション・施設見学等		
15:00			
16:00	15:00 ゼミ1「はじめまして、どうぞ、よろしく」 講師: 嵯峨創平 (岐阜県立森林文化アカデミー)、 大月ヒロ子	15:00 ゼミ1「自己紹介」 講師: 小澤櫻作 会場: 大スタジオ	15:00 ゼミ1「自己紹介」 講師: 渡辺弘、津村卓 (上田市交流文化芸術センター館長 /地域創造プロデューサー)
17:00	会場: 多目的ルーム		会場: 市民アトリエ・ギャラリー
18:00	休憩(30分程度)	休憩(30分程度)	休憩(30分程度)
19:00	18:30~20:00 全体交流会 会場: 大ホールホワイエ		
20:00			
21:00			
22:00			

■7月6日(水) 第2日

【研修スケジュール】

	ホール入門コース	自主事業Ⅰ(音楽)コース	自主事業Ⅱ(演劇)コース
主会場	コーディネーター 大月 ヒロ子 有限会社アイデア代表取締役 国立歴史民俗博物館客員准教授	コーディネーター 小澤 櫻作 上田市交流文化芸術センター プロデューサー (公財)北九州市芸術文化振興財団 音楽事業アドバイザー	コーディネーター 渡辺 弘 彩の国さいたま芸術劇場 事業部長
10:00	10:00 ゼミ2「セレノグラフィカの仕事を語る からの 場所の探検」 講師: 隅地菜歩、阿比留修一(セレノグラフィカ)、 大月ヒロ子 会場: 多目的ルーム	10:00 ゼミ2「公共ホールの役割」 講師: 小澤櫻作 会場: 大ホール楽屋7	10:00 ゼミ2「文化的コモンズ～地域における ホール・劇場はどうあるべきか」 講師: 大澤寅雄(ニッセイ基礎研究所 芸術文化プロジェクト室 准主任研究員)、 渡辺弘 会場: 市民アトリエ・ギャラリー
11:00			
12:00	昼食	昼食	昼食
13:00			
14:00	13:00 ゼミ3「廃材ダンス その1」 講師: セレノグラフィカ、大月ヒロ子 会場: 多目的ルーム	12:30 ゼミ3「劇場スタッフとして 身につけたいスキル～その1～」 講師: 小澤櫻作、 田澤拓朗(上田市交流文化芸術センター) 会場: 大ホール楽屋7	13:00 ゼミ3「ワークショップを考える～体験篇」 講師: 南波圭(俳優)、渡辺弘 会場: 市民アトリエ・ギャラリー
15:00	休憩(20分程度)	休憩(15分程度)	休憩(15分程度)
16:00	15:20 ゼミ4「廃材ダンス その2」 講師: セレノグラフィカ、大月ヒロ子 会場: 多目的ルーム、小ホール	15:00 ゼミ4「音楽ワークショップ」 講師: 中川賢一(ピアニスト/指揮者) 会場: 大スタジオ、子どもアトリエ	15:15 ゼミ4「ワークショップを考える～検討篇」 講師: 南波圭、渡辺弘 会場: 市民アトリエ・ギャラリー
17:00	休憩(20分程度)	休憩(30分程度)	休憩(15分程度)
18:00	17:30～20:00 共通プログラム 「2時間で学ぶ著作権の必須知識」(講演会) 講師: 福井健策(弁護士) 会場: 小ホール		
19:00			
20:00			
21:00			
22:00			

■7月7日(木) 第3日

【研修スケジュール】

	ホール入門コース	自主事業Ⅰ(音楽)コース	自主事業Ⅱ(演劇)コース
	コーディネーター 大月ヒロ子 有限会社アイデア代表取締役 国立歴史民俗博物館客員准教授	コーディネーター 小澤 櫻作 上田市交流文化芸術センター プロデューサー (公財)北九州市芸術文化振興財団 音楽事業アドバイザー	コーディネーター 渡辺 弘 彩の国さいたま芸術劇場 事業部長
主会場			
10:00	10:00 ゼミ5「ここにしかないモノとは？」 講師:三宅航太郎、蛇谷りえ(うかぶLLC)、 大月ヒロ子 会場:多目的ルーム、和室	10:00 ゼミ5「演劇ワークショップ」 講師:岩崎正裕(劇団太陽族主宰/ AI・HALLディレクター) 会場:大スタジオ	10:00 ゼミ5「地域演劇と市民参加劇の 在り方を考える～事例篇」 講師:大堀久美子(ライター)、 柳沼昭徳(烏丸ストロークロック 代表) 渡辺弘 会場:市民アトリエ・ギャラリー
11:00			
12:00	昼食・休憩	昼食・休憩	昼食・休憩
13:00	12:30 ゼミ6「リサーチ:ここにしかないモノを探す」 講師:うかぶLLC、大月ヒロ子 会場:屋外、多目的ルーム、和室	13:00 ゼミ6「劇場スタッフとして身に付けたいスキル～その2～」 講師:小澤櫻作、 佐藤博樹(上田市交流文化芸術センター) 会場:大ホール楽屋7	13:00 ゼミ6「地域演劇と市民参加劇の 在り方を考える～検討篇」 講師:柳沼昭徳、大堀久美子、渡辺弘 会場:市民アトリエ・ギャラリー
14:00		休憩(15分程度)	休憩(15分程度)
15:00		14:45 ゼミ7「グループディスカッション」 講師:小澤櫻作 会場:大ホール楽屋7	15:15 ゼミ7「劇を創る①」 講師:内藤裕敬(劇作家・演出家/ 南河内万歳一座 座長)、渡辺弘 会場:市民アトリエ・ギャラリー
16:00	休憩(適宜)	休憩(30分程度)	休憩(15分程度)
17:00	16:15 ゼミ7「ディスカッション: みる自由と発言する自由」 講師:うかぶLLC、大月ヒロ子 会場:多目的ルーム、和室	17:00 ゼミ8「稽古」 講師:岩崎正裕、セレノグラフィカ、 中川賢一、小澤櫻作 会場:大スタジオ	17:30 ゼミ8「劇を創る②」 講師:内藤裕敬、渡辺弘 会場:市民アトリエ・ギャラリー
18:00	休憩(適宜)		休憩(15分程度)
19:00	18:00 ゼミ8「クリエイション～みんなの 力を拡張して～」 講師:うかぶLLC、大月ヒロ子 会場:多目的ルーム、和室		
20:00			
21:00			

■7月8日(金) 第4日

【研修スケジュール】

	ホール入門コース	自主事業Ⅰ(音楽)コース	自主事業Ⅱ(演劇)コース
	コーディネーター 大月 ヒロ子 有限会社アイデア代表取締役 国立歴史民俗博物館客員准教授	コーディネーター 小澤 櫻作 上田市交流文化芸術センター プロデューサー (公財)北九州市芸術文化振興財団 音楽事業アドバイザー	コーディネーター 渡辺 弘 彩の国さいたま芸術劇場 事業部長
主会場			
10:00	10:00 ゼミ9「プレゼント～発表する～」	10:00 ゼミ9「リハーサル・本番」	10:00 ゼミ9「劇を創る③@」
11:00	講師:うかぶLLC、大月ヒロ子 会場:多目的ルーム、和室	講師:岩崎正裕、セレノグラフィカ、 中川賢一、小澤櫻作 会場:大スタジオ	講師:内藤裕敬、渡辺弘 会場:市民アトリエ・ギャラリー
12:00			
13:00	昼食・休憩	昼食・休憩	昼食・休憩
14:00	13:00 ゼミ10「振り返り」 講師:大月ヒロ子 会場:多目的ルーム	13:00 ゼミ10「振り返り」 講師:小澤櫻作 会場:大スタジオ	13:00 ゼミ10「まとめ」 講師:渡辺弘 会場:市民アトリエ・ギャラリー
15:00	14:30 アンケート記入・休憩・移動	14:30 アンケート記入・休憩・移動	14:30 アンケート記入・休憩・移動
16:00	15:00 修了式		
17:00			
18:00			
19:00			
20:00			
21:00			
22:00			

2 各コースについて

(1) ホール入門コース

① 総 評

コーディネーター 大月 ヒロ子

今年の夏は本当に暑かったですね。上田は信州にあるから、ちょっとは涼しいかも？という期待は見事に覆され、猛暑の中、ホール入門コースは町歩きというプログラムも盛り込んだ過酷な展開となりました。そんな現場で、くじけず、気持ちよく、手厚いサポートをしてくださった事務局やサントミュージゼの方々には、厚くお礼申し上げます。そしてなにより、最後までお付き合いくださった参加者の方々ありがとうございました。今も、ホール入門コースの方々が連絡を取り合っている様子に、ホッとしています。これから皆様にとって一番頼りになるのは、このときの仲間ですから。

ステージラボの参加対象者にとってのホールや劇場は、まさに仕事の現場です。と同時に、その施設を取り囲むコミュニティーも等しく現場であるはず。ステージラボの開催館の立地によっては、コミュニティーに繰り出すことが時間的に難しい場合もありますが、せっかくなら全国各地からやってくる参加者と一緒に、開催館を取りかこむ現場、コミュニティーを見ながら一緒に考えたいと思いました。

なぜなら、劇場やホールにとっての課題も解決のヒントも、そして、みんなが気づいていない町の大きな魅力も、直に自分の足で歩いてみなければ発見できないからです。そして、それらすべては現場にあります。内と外両方に。しかし、ゼミの限られた時間のなかでどう動けるかは課題でした。サントミュージゼと町の中心地の距離を測りつつ、中心部からのスタートなら何とかなりそうと、コミュニティーカフェをランチ場所にして、なんとか時間内に収めることができたのは幸いでした。ホールと町の各所が良い関係性を築いているからこそ、融通がきいたのだと思います。子どもを連れたママや仕事をする人もやってくるカフェ、良いセレクトの書店も併設し、おいしいランチも提供できる広々としたカフェ。お世話になりました。現在の上田の町に、いろんな動きが芽生えていることが、参加者の方々と動くことで知れたのも良かったです。観光ではない日常の中に潜む面白さや美しさや穏やかさが、実は一番の強度を持っていると思うからです。そういったものを、私たちは確実にキャッチせねばなりません。それが仕事の栄養になっていきます。

さらに、何も無いと思えるホールや劇場、美術館のバックヤードにも創作のタネがたっぷり眠っていることにも気づいてほしかったので、今回は廃材をモチーフにすることを決めました。サントミュージゼのスタッフの方々が快く提供くださった廃材は魅力的なものがたくさんありました。制作の現場は実は廃材の宝庫でもあるのです。ただ、ゆっくり、じっくりトレジャーハンティングする時間が取れなかったのは、なんとも残念でした。様々な専門の講師の方々には限られたゼミの時間の中で無理をお願いしてしまいましたが、いずれもプロフェッショナルな視点と姿勢でサポートくださいました。そして、たくさんの気づきや、新鮮な体験を、参加者の方々にプレゼントしていただき、本当にありがとうございました。講師の方々自身の姿勢や考え方に学ぶところも多かったです。始まってからも、いったいぜんたい、ホール入門コースは何をするのだろうか？という疑問符が付いたままであったかと思います。すみません。でも、結果として、いつも使わない頭と心のどこかを多少なりとも刺激できていたならば、良しとしてくだされば幸いです。

自分の足で歩き、いろんな方向から見て、思い込みを捨てて、みなさまなりの確固たる魅力ある現場を作っていただけたらと思います。また、どこかでお会いするのを楽しみに！

② ゼミ記録

—第1日— 7月5日（火）

ゼミ1 「はじめまして、どうぞ、よろしく」

講師： 嵯峨 創平、大月 ヒロ子

嵯峨さんのファシリテートによって、演劇や環境系の手法を使ったコミュニケーションゲームからスタート。ついで、嵯峨さんのこれまでのお仕事に絡めながら、現在の拠点近くにある美濃の町で行われる「美濃流し仁輪加」（国選択無形民俗文化財でありながら現代的なネタ演劇系&環境系の地域プロジェクト事例）や、博物館の中で行う「ミュージアムシアター」（展示と観客をつなぎ、記憶を引き出すフォーラム）、「美濃和っ紙よいマルシェ」（紙すき集落で始まった新しいアートイベント）など地域資源をどうすくい上げるか、ご自身の実践を通して感じてこられたことなどを伺いました。その後、参加者はグループワークで地域においてアートプロジェクトを展開する際のポイントなどを整理しました。会場には参加者が地元から持参したお茶菓子がずらりと並び、その脇にそれぞれの職場のパンフレットや資料も。休憩時間には、お菓子をつまみながらのおしゃべりが弾みました。



—第2日— 7月6日（水）

ゼミ2 「セレノグラフィカの仕事語る からの 場所の探検」

講師： セレノグラフィカ（隅地 菜歩、阿比留 修一）、大月 ヒロ子

セレノグラフィカのお二人が、どのような気持ちでコンテンポラリーダンスに取り組んでこられたか、これまでの足取りをなぞりながらのお話を伺いました。手掛けてきた様々な表現、アウトリーチなど教育現場での活動、他ジャンルとのコラボ、それらをとおして、コミュニティーをどのように見つめてきたかについても、映像を見ながら知ることができました。

その後、セレノグラフィカのお二人も交え、ホールと美術館のバックヤードから廃材を集めてきました。集まった廃材を色のグラデーションに並び変えてみたり、気に入った廃材を参加者それぞれが選び、じっくり見て、美しい、面白い面を見つけながら、工夫して並べたりして写真撮影を行いました。



ゼミ3 「廃材ダンス その1」

講師： セレノグラフィカ、大月 ヒロ子

皆が撮影した廃材の写真をきっかけにして、グループごとに動きを編み出していきました。モノの形、モノが生む音なども、ヒントになります。ダンスの動きについての基本パターンなどをセレノグラフィカさんから教わりながら、小作品を構築していくための準備が始まりました。

最終的には自分たちが撮影した廃材写真の中から、ダンスのモチーフとなる映像が背景に映し出されることを考慮に入れながら、さらには、いくつかの候補音楽の中から自分たちのダンスに使いたいものを選んだりもしつつ、練習は続けました。



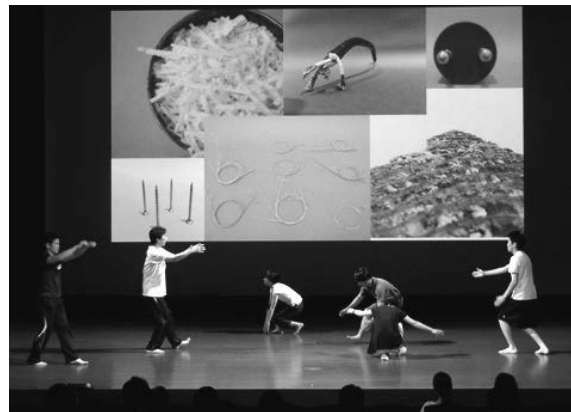
ゼミ4 「廃材ダンス その2」

講師： セレノグラフィカ、大月 ヒロ子

小ホールでの発表に向けての練習と、リハーサル。このあたりになってくると、グループそれぞれの色がかっきりと見えてきました。テクニカルスタッフの方々の協力を得て、照明も、音響もパーフェクトな舞台が用意され、各グループ本番にむけて緊張も高まります。

映像の転換タイミングがあまりうまくいかなかったのは、わたくしコーディネーターの責任でしたが、美しい初舞台に達成感を覚えた方も少なくなかったようでした。

駆け足のプログラムで、廃材探しにもっと時間をかけたかったという大きな反省はありつつも、共通ゼミまでに舞台を明け渡せてホッとしました。



—第3日— 7月7日（木）

ゼミ5 「ここにしかないモノとは？」

講師： うかぶLLC（三宅 航太郎、蛇谷 りえ）、大月 ヒロ子

お二人から、うかぶLLCができたいきさつや、地域をどのようにとらえ、活動を続けてきたかを詳しく話していただきました。国内外を問わず、感度の良い人々が挙って集まってくる場所づくり。観光化されていない日常そのものの場所に、何を見出すか。彼らのプロジェクトの肝となっている部分が、柔らかな語り口から垣間見えたように思います。

その後場所を街中のカフェに移し、ランチをみんなでいただきました。広々としていて、子どもも仕事をする大人もイイ距離感で同居しているカフェは、コミュニティーを考えるうえで良い刺激を与えてくれました。



ゼミ6 「リサーチ：ここにしかないモノを探す」

講師：うかぶLLC、大月 ヒロ子

うかぶLLCの二人が考えたルール（二人一組になって傘を誘導棒代わりにして片方の人は目隠しで歩く）に従って、上田の町を散策しながら、町の魅力を探すことについての説明がなされ、そのためのエクササイズとして、ちょっとしたゲームをカフェで行いました。指先で見分ける、耳を澄ます、視覚以外を全開にしてみると、どうだろう。目隠しして歩くことで見えて来るものがあるはず。その後みんなは町へ繰り出し、写真を数枚撮影して戻ってきました。歩き方、誘導の仕方、二人のやり取りの方法など、気づいたことを話して、調整し、みんなふたたび町に。最終地点はサントミュージゼに。帰りついてホッとした顔も印象に残っています。



ゼミ7 「ディスカッション：みる自由と発言する自由」

講師：うかぶLLC、大月 ヒロ子

各人が目隠しの町歩きで気づいたこと、見つけたものを言葉にして文章を作成しました。パートナーに撮ってもらった自分の写真1カット、自分が撮った風景写真1カット、自分の文章というので3ページ1単位で構成された「ふたりの見えない上田」という小冊子を作る作業に入りました。見ながら撮ったわけではない不思議な写真、目隠しをして味わったアイスクリームや水の音など、意外な気づきやズレに戸惑いながらも、みんなそれらを一生懸命言語化していたのが印象に残りました。



ゼミ8 「クリエイション～みんなの力を拡張して～」

講師： うかぶLLC、大月 ヒロ子

蛇谷さんによる表紙のイラストが準備され、三宅さんによる編集作業も進み、参加者の作品を一つの冊子にまとめるためのあれやこれやが進行。データが出来上がり、出力を事務局の方々の力を借りて行いましたが、まさかの、プリンターの故障！ご迷惑をおかけしました。でもくじけず、最後の出力まで頑張ってくださいありがとうございました。とてもナイーブな冊子が出来上がりました。参加者みんなの手が繋がっているかのように見えて来ます。うかぶLLCのお二人のセンスが盛り込まれた、秀逸な編集デザインでした。

—第4日— 7月8日（木）

ゼミ9 「プレゼント～発表する～」

講師： うかぶLLC、大月 ヒロ子



前日に刷り上がったものを、冊子にまとめていきます。紐で閉じると出来上がり。それを台本に、背景に写真を投影しながら、一人ずつ読み上げていきました。見えない人にどのように伝えるのか、あるいは、見えない人から何を教わるのか。コミュニケーションのあり方を、いつもとは違った軸で考え直す良い機会になったように思います。

「ふたりの見えない上田」というタイトルもなかなかに鋭かった。見えない上田、見えていないコミュニティーに実はいろんな大切なことが潜んでいるのかも。。。という逆説的な問いかけもそこにあったのではないのでしょうか。

ゼミ10 「振り返り」

講師： 大月 ヒロ子

ゼミ全体を通しての振り返りを行いました。時間軸に沿ってゼミ1からゼミ9までの写真をみんなで見ました。濃密な4日間の内に、すっかり忘れてしまったあれやこれやも、今一度みんなで思い出しながら、振り返ります。また、何故入門ゼミでこのようなプログラムを作ったかという種明かしも込めての、短い説明も行いました。

それぞれが現場に戻ってから、どんなことをしたいか、これからについての思いもみんなシェアして終了。「ふたりの見えない上田」の冊子を一冊ずつ携えて、解散となりました。



(2) 自主事業Ⅰ (音楽) コース

① 総 評

コーディネーター 小澤 櫻作

創造力に溢れ、表現が豊かでお互いの個性を認め合える。そんな生き活きとした地域社会を創り出すために、公共ホールは何ができるのでしょうか？そして、その時、スタッフにはどのようなスキルが求められるのでしょうか？今回の音楽コースは、そのようなことを考え、ヒントを探し続ける4日間となりました。

今回の音楽コースの内容は、ラボ開催地、上田市交流文化芸術センター・サントミュージゼの活動を題材にして、大きく分けて「ノウハウ」と「体験」の2つで構成しました。

まず、ノウハウでは、テーマを「公共ホールの現在地」と「企画・制作」と「広報」の3つに絞り、ゼミを企画しました。

「公共ホールの現在地」では、近年、アウトリーチやワークショップが盛んになった背景や、今なぜミッション・役割が重要と言われるのか？などについて、公共ホールの歴史を辿りながら考えました。

「企画・制作」「広報」では、ノウハウの獲得のために必要なことは、残念ながら、この業界で多いと言われている“先輩から、理由（根拠）の説明もないまま、具体的な行動だけを求められる”という『行動の模倣』ではなく、「なぜこの作業が必要なのか？」「どういった結果が求められるのか？」という根拠となる理由（原因）を知り、「自分達に合った方法を探し出すこと。」そして「その創り出したノウハウをスタッフ全員でシェアするためにはどうしたら良いか？」など、自分達でノウハウを創り出すために必要な“考え方と考える力”を持つことが大切で『原因の模倣』から学び、個々の職員の『創造力』を伸ばしていくことが重要なのではないか。というゼミになりました。

続いて、体験では、サントミュージゼの「アーティスト・イン・レジデンス事業」を全国の公共ホールの人たちと創り上げていくことで何を見つかることができるのだろうか？というステージラボならではの実験的な取り組みとなりました。

まず技術的な実験（視点）としては、本来、アウトリーチやワークショップの一つ一つは汎用性の高いものですから、テーマ・コンセプトをしっかりと持ち、丁寧に繋ぎ合わせていけば、アーティストやジャンルが違ってひとつの方向に向かって行くことができる。ということが分かりました。

次に内容面では、参加者の皆さんもアーティストもスタッフもみんな生き活きとして表情を浮かべ、自分を表現し、仲間との創作の時間・空間を楽しんでいました。

思い出しました。私自身が平成12年の金沢ラボ・ホール入門コースに参加した時も、みんなでパレードして音楽絵本を創りました。大切な思い出で僕の原点です。

～舞台芸術には、自分を表現したいと思わせる力と仲間を信頼させる力があります。そして、そうした環境は創造力を伸ばすことができます。～今回も金沢も感想は同じでした。

これからの公共ホールにとって大切なことは、そうした舞台芸術の力を知り、信頼し、地域で活用することができるスタッフを育てていくことだと思います。

『ステージラボにはもう参加したから…』と考えている皆さん。もう一度、自分の原点を確認しに来られてはいかがですか？

② ゼミ記録

—第1日— 7月5日（火）

ゼミ1 「自己紹介」

講師： 小澤 櫻作

まずは「自己紹介」。を予定していましたが、セレノグラフィカさんの乱入により、予定を変更しダンスワークショップを行いました。

内容を急遽変更したにも関わらず、なぜか事前に動きやすい服装を指定されていた参加者の皆さんの動きはとっても軽やか(?)で、おしり歩きやマイネームダンスなど様々なワークを通じ、みんなで汗を流しました。自己紹介もちゃんとやりましたよ。



—第2日— 7月6日（水）

ゼミ2 「公共ホールの役割」

講師： 小澤 櫻作

国内のアウトリーチ活動は90年代後半から徐々に盛んになり、今ではアウトリーチに取り組んでいない公共ホールを探す方が難しいのではないと言われるほど全国の公共ホールが取り組んでいます。

では、アウトリーチが盛んになる前の公共ホールはどのような活動をしていたのでしょうか？アウトリーチ活動は、なぜ、こんなに早く拡大したのでしょうか？

このゼミでは、公共ホールの歴史から活動の変化を知り、いま公共ホールに期待されている役割について考えました。



ゼミ3 「劇場スタッフとして身に付けたいスキル～その1～」

講師： 小澤 櫻作、田澤 拓朗

レジデント・アーティストを中心に様々な自主事業に取り組んでいるサントミュージゼ（上田市交流文化センター）。そのサントミュージゼの自主事業は、どのような狙いを持って企画されているのでしょうか？また、限られた人数で効率良く事業を運営していくためにはどのようなノウハウが必要なのでしょうか？

自主事業の企画・運営のための基礎的ノウハウについて、サントミュージゼを題材に考えました。



ゼミ4 「音楽ワークショップ」

講師： 中川 賢一



巨匠・Ken-ichi NAKAGAWA によるピアノワークショップ。

前半は、ピアノの構造を知り、即興音楽やクラシック音楽に出会うワークショップ。後半は、美術館の子どもアトリエに引っ越して、音楽に合わせてダンボールピースや横断幕などの美術作品を作成するという、盛り沢山でカラフルなワークショップとなりました。

—第3日— 7月7日（木）

ゼミ5 「演劇ワークショップ」

講師： 岩崎 正裕

レジデント・カンパニー劇団太陽族の岩崎正裕さんによる演劇ワークショップ。

自己紹介、他己紹介、漫才創り etc…コミュニケーション、アイデア、創作など、舞台創りを構成する様々な要素が詰まった興味深いワークショップとなりました。



ゼミ6 「劇場スタッフとして身に付けたいスキル～その2～」

講師： 小澤 櫻作、佐藤 博樹



スキルアップゼミの第2弾は「広報」。講師には、サントミュージゼで広報を担当している佐藤博樹さん。

街で一番の情報誌は“市の広報”。チラシを作っても撒く場所がない。興行的に見ればまるで荒野のような環境のなかで開館したサントミュージゼ。そうした環境のなかでサントミュージゼの広報はこれまで何をして、これからは何を目指すのか？開館からの苦労話をたっぷりとお聞きました。

ゼミ7 「グループディスカッション」

講師： 小澤 櫻作

前半戦を終えて、みんなで意見の交換。

グループに分かれ、これまでのダンス・音楽・演劇それぞれのワークショップの体験を言語化し、共有したり、アーティストが滞在することで“まち”や“ひと”にどのような影響を与えることができるのか？などについて、話し合いました。



ゼミ8 「稽古」

講師： 岩崎 正裕、セレノグラフィカ、中川 賢一



音楽コースの後半戦は作品創り。

岩崎さん、セレノグラフィカさん、中川さん。サントミュージゼのレジデント・アーティスト3組(4名)を迎え、演劇・ダンス・音楽+参加者の大コラボレーションによる参加型作品の創作です。

参加者の皆さんはお気づきなられたかと思いますが、ここまでの3つのワークショップはすべてこの作品に向けて組み立てられていました。

—第4日— 7月8日（金）

ゼミ9 「リハーサル・本番」

講師： 岩崎 正裕、セレノグラフィカ、中川 賢一

（たねあかし）アーティストとの打合せのスタートラインの内容は以下のとおり。

- ① アーティストと音楽コース参加者による参加型作品を創作したい。
- ② 音楽コースとして音楽が中心にあるコラボレーション。
- ③ 美術館併設の施設として、ムソルグスキー作曲の『展覧会の絵』を選曲し、テーマは“ロスト”。
- ④ 参加型公演を基本としながらも、参加者が客席に座りアーティストの本気の演奏、踊りを観ることが出来る。
- ⑤ 全体の構成・演出は岩崎さんをお願いする。

短時間での創作でしたが、アーティストも参加者も名演・名演技の連続。終演後に演劇コースの渡辺コーディネーターから「有料公演でも行けるよ！」とのお言葉をいただき、本当に嬉しかったです。



ゼミ10 「振り返り」

講師： 岩崎 正裕、セレノグラフィカ、中川 賢一

見知らぬメンバーが集まり、共に学び、作品を創った。このことにより、私たちは何を得たのでしょうか？そして、公共ホールを運営する者として、これから何が出来るのでしょうか？時間の許す限り、みんなでお話し合いました。

(3) 演劇コース

① 総 評

コーディネーター 渡辺 弘

私にとってラボ・コーディネーターは三度目となります。どんな方たちが集まるのか見えないなかスタートするため、顔合わせの時まで不安感が高まります。が、初日の番外ゼミが終わる頃には、参加者同士がすっかり旧知の仲のような雰囲気となりホッとするのですが、今回は20歳代の参加者が多かったせいか、早いペースで一体感が醸し出されていたのには驚きました。とにかくパワフルな4日間が過ごせたと思っています。

今回のステージラボの取り組みの核となる考え方は、地域創造の提唱する「文化的コモンズ」＝「地域における文化・芸術活動を担う人材の育成」ではないかと考え、全体を構成しました。その取りかかりに、ゼミ2で大澤寅雄さんに「文化的コモンズ」についての考え方、取り組み事例を紹介していただくことからスタートしました。地域において劇場・ホールはどんな存在なのか、そこで働く職員はどのような意識、知識、人的つながりを持つべきなのか、さまざまな問いが突きつけられていきます。そうした意識を持ってもらい、自分の立ち位置を確認しながら、ゼミ3以降のカリキュラムに臨んでもらえばと考えました。

ゼミ3～4は「ワークショップを考える」と題し、実際に体験をし、そのことを踏まえての考察、検討の時間としました。当り前のようにどこの劇場・ホールでも実施されているワークショップを、もう一度新鮮に感じ見つめ直してもらおう意図でしたが、会場を飛び出しサントミュージゼのあちこちを舞台に発表するという予想外の展開となったのは嬉しい誤算でした。そう、若い参加者はアツという間に「型破り」をしていたのです。

3日目のゼミ5～6は、「地域演劇と市民参加劇の在り方を考える」をテーマに事例の紹介と検討を行いました。これも各地で行われている事業ですが、実際に各地で市民参加劇を行っている講師の柳沼昭徳さんの笑えそうで笑えない事例に、それぞれがさまざまに反応していたところが良かったかなと感じました。

そして最後は、関西を代表する演劇人の内藤裕敬さんによる「劇を創る」。実際に脚本を書き、本番を音楽コースの参加者を前に演じるというオマケまで付きました。終了後、今度は音楽コースの発表を観るスケジュールとなったのですが、観客に見せるという事のために時間と空間を作ることの手間は面倒な事ではありますが、ただの身内の発表会にしなかったことは大変重要な出来事だったと思います。このことで劇場のスタッフ、地域創造のスタッフと参加者がより一体になれた感がありました。

4日間のスケジュールはアツという間に過ぎました。このラボは「正解」を見いだすところではなく、もう一度自分の仕事を見つめ直す時間であり、同じ境遇の参加者と課題を共有したり共感したりしながら「繋がり」を創る広場ではないでしょうか。コーディネーターや関わるスタッフは、その広場の環境を整える役目でしかありません。参加者自身がどう感じて、なにを持ち帰ることができたかわかりませんが、将来それぞれの地域で重要な「文化コーディネーター」になって欲しいと願ってやみません。

最後に、地域創造のスタッフ、特に、これが公共劇場の当たり前の姿ですが、さまざまな事態に軽やかに対応して下さった上田市サントミュージゼのスタッフに感謝申し上げます。

② ゼミ記録

—第1日— 7月5日（火）

ゼミ1 「自己紹介」

講師： 津村 卓、渡辺 弘

まずはコーディネーターの自己紹介。続いて参加者の自己紹介と施設の紹介、そして抱えている課題を話すところからスタート。そして、その課題について津村氏と私の経験値からのアドバイスが語られていった。津村さんからは、「公共劇場を背負うことの意味をしっかりと考えてください！」と檄が飛んだり、どう工夫するべきかの考え方などが示されたり・・・そして番外ゼミへの突入となった。



—第2日— 7月6日（水）

ゼミ2 「文化的コモンズ～地域におけるホール・劇場はどうあるべきか」

講師： 大澤 寅雄

ホール・劇場は地域においてどのような存在であるべきなのだろうか・・・大澤さんは、震災等＝「災い」



後の公立文化施設の役割は変わってきているのでは？というところから講義をスタート。「人々が集い、つながりを持てる場所」が公立文化施設であり、地域の多様な文化的営みを共有し、分かち合える「文化的コモンズ」の形成が求められている。そしてホール・劇場で働く人こそ地域や行政等を繋ぐ「コーディネーター」になる必要があるのではないかと説く。最後に、大澤さんから参加者に「あなたの地域で何人と繋がっているか」という具体的問いが投げかけられ終了となった。参加者にとって重い問いかけのようだった。

ゼミ3、4 「ワークショップを考える～体験篇・検討篇」

講師： 南波 圭、渡辺 弘

まずは参加者がワークショップを体験することからスタート。南波さんが地域で親子向け等にやられているさまざまなワークショップが展開される。最後に4グループに分かれ、「公園」にまつわる10秒物語を創作。発表場所を考えようということとなりサントミュージエを探索する参加者たち。そして発表は、廊下や階段、芝生の庭でと思いもよらぬ場所となった。こうした体験がホール・劇場の楽しい使い方を考えるきっかけとなってくれればと思う。

体験の後は事例紹介や課題を検討。アーティストとの相性、ワークショップ参加者の固定化の打破、どのように地域のニーズを掴めばいいか・・・など熱いディスカッションが繰り広げられた。



—第3日— 7月7日（水）

ゼミ5、6 「地域演劇と市民参加劇の在り方を考える～事例篇・検討篇」

講師： 大堀 久美子、柳沼 昭徳

全国各地ではどんな劇団が、劇場が創造・発信をしているのか、内容にどのような傾向があるのかを、全国をリサーチしているジャーナリストの大堀さんからの報告と「それぞれの地域ならではの純度の高い表現が創りだされている」事例が紹介された。続いて市民参加劇を行っている劇作家・演出家の柳沼昭徳さんから、笑えそうで笑えないアーティストの立場から見えたさまざまな事例、課題が挙げられた。



—第3日— 7月7日（水）

ゼミ7、8 「劇を創る①②」

—第4日— 7月8日（金）

ゼミ9 「劇を創る③」

講師： 内藤 裕敬

ここからは実際の芝居創りを体験。芝居を創る基本から話し出した内藤さん、そして芝居の基となる戯曲を参加者が書いてみようということに進展。初めての挑戦に戸惑う参加者たちだが、意外と様になっているのに内藤さんもびっくり。参加者の戯曲を内藤さんが構成して流れを創り、いよいよ稽古というところでこの日は終了。翌日、台詞覚えと稽古。演出家内藤さんの演出が冴え、シュールでミステリアスで笑える作品に。これ

を音楽コースの参加者が観劇するということとなり、緊張する幕開けだったが、堂々の演技を披露し充実した公演となった。参加者は口々に「端で見ているのと実際やるのはこんなにも違う」と語っていたが、現場に戻ったときにこれまでとは違う風景が見えてくることにもなる有意義な体験だったのではないだろうか。



—第4日— 7月8日(金)

ゼミ11 「まとめ」

講師： 渡辺 弘

音楽コースの参加者に観てもらったお返しに、その発表を観る時間となった。

これは他コースがどんな作品創りをしているのか、「演者」から今度は「観客」になる体験をした。こうした交流は、より視野を拓けることとなり今回のラボで大変エポックになる出来事だったのではないだろうか。さまざまなスタッフの配慮に感謝したい。部屋に戻って、短い時間だったが今回のラボで感じたことをそれぞれが述べて怒濤の4日間の行程が終了。お疲れさまでした。

3 共通プログラム

『2時間で学ぶ著作権の必須知識』（講演会）

（1）日時・会場

7月6日（水） 17:30～20:00

上田市交流文化芸術センター 小ホール

（2）講師

福井 健策（弁護士・日本大学藝術学部客員教授）

（3）概要及び目的

劇場運営や音楽事業、演劇事業を実施するに当たり、著作権に係る処理やトラブルは必ず出てきます。今回の共通プログラムでは、著作権に関する日本の第一人者である福井健策氏を迎え、劇場や舞台芸術に係る著作権の実務知識と最新動向について基礎から学び、参加者のスキルアップを図ることを目的とした。



（4）内容

骨董通り法律事務所代表パートナーであり、日本大学藝術学部客員教授を兼任するほか、東京藝術大学、東京大学大学院の著作権や契約に関する科目で教鞭をとるなど、芸術・文化法、著作権法を専門分野として、第一線で活躍されている福井健策氏を迎えて、著作権に関する基礎知識を学ぶ機会となりました。

講演会では、「どんな情報が著作権で守られるか」「どんな利用に著作権が及ぶのか」「どこまで似れば侵害か」などの基礎知識に加え、「著作権炎上という新たなリスク」など、近年の状況についても講演いただきました。福井氏のお人柄や軽快な話術にひき込まれるように耳を傾け、日頃の業務や事業を行う中での疑問点や注意しなければいけない点などを、熱心に拝聴していました。

講演会の最後には、質疑の時間も設けられ、受講者からキャッチコピーやコメントの著作権についての質問が出るなど、劇場運営や音楽事業、演劇事業等を進めるうえで、著作権と密接な関係にあり、重要であることを再確認する機会となりました。

IV ステージラボ

豊田セッション

■2月21日(火) 第1日

【研修スケジュール】

	ホール入門コース	音楽コース	演劇コース
	コーディネーター 林 健次郎 公益財団法人愛知県文化振興事業団 愛知県芸術劇場 企画制作部長代理 兼 広報・マーケティンググループ チーフマネージャー	コーディネーター 榎本 広樹 公益財団法人新潟市芸術文化振興財団 リューとびあ 新潟市民芸術文化会館 事業企画部 音楽企画課長	コーディネーター 岩崎 正裕 劇作家・演出家、劇団太陽族主宰 AI・HALL(伊丹市立演劇ホール) ディレクター
主会場	大会議室	展示室B(WS)、練習室C(ゼミ)	展示室A
9:00			
10:00			
11:00			
12:00			
13:00			
14:00	13:30 受付		
14:00	14:00		
15:00	開講式・オリエンテーション 会場: 小ホール		
15:00	15:00 ゼミ1「イントロダクション」 講師: 林健次郎 会場: 大会議室	15:00 ゼミ1「アイスブレイク」 講師: 榎本広樹 会場: 大ホール2Fロビー	15:00 ゼミ1「自己紹介」 講師: 岩崎正裕 会場: 展示室A
16:00		休憩(15分程度)	
16:00		16:00 ゼミ2「イントロダクション & Goal !」 公演1ヶ月後、机の上には・・・ 講師: 榎本広樹 会場: 練習室C	
17:00		16:30 ゼミ3「公演当日の雰囲気...そして、今日の宿題」 講師: 榎本広樹 会場: 練習室C	
17:00		休憩(10分程度)	
18:00		17:10 ゼミ4「ミニコンサート」 講師: 宮本妥子(打楽器・マリンバ奏者) 中川賢一(ピアニスト) 会場: 展示室B・小ホール	
18:00	休憩(30分程度)	休憩(10分程度)	休憩(30分程度)
19:00	18:30~20:00 全体交流会 会場: 大ホール1Fホワイエ		
20:00			
21:00			

■2月22日(水) 第2日

【研修スケジュール】

	ホール入門コース	音楽コース	演劇コース
	コーディネーター 林 健次郎 公益財団法人愛知県文化振興事業団 愛知県芸術劇場 企画制作部長代理 兼 広報・マーケティンググループ チーフマネージャー	コーディネーター 榎本 広樹 公益財団法人新潟市芸術文化振興財団 りゅーとびあ 新潟市民芸術文化会館 事業企画部 音楽企画課長	コーディネーター 岩崎 正裕 劇作家・演出家、劇団太陽族主宰 AI・HALL(伊丹市立演劇ホール) ディレクター
主会場	大会議室	小ホール・展示室B(WS)、練習室C(ゼミ)	展示室A
10:00			
11:00	10:00 ゼミ2「レクチャー&グループワーク 『文化政策を取り巻く環境』」 講師:米本一成((公財)かすがい市民文化財団 総務グループ/施設サービスグループマネージャー)ほか 会場:大会議室	10:00 ゼミ5「目覚ましディスカッション」 ゼミ6「ワークショップ」 講師:榎本広樹 会場:練習室C 休憩(10分程度)	10:00 ゼミ2「アウトリーチから見える地域」 講師:山口英樹(AI・HALL(伊丹市立演劇ホール)館長) 津村卓(北九州芸術劇場顧問 /上田市交流文化芸術センター館長) 会場:展示室A
12:00	昼食・休憩	11:40 ゼミ7「行動分析:チケットを買うということは」 講師:榎本広樹 会場:練習室C	昼食・休憩
13:00	13:00 ゼミ3「コミュニケーション・ツールとしての舞台技術」 講師:丹羽 功(名古屋芸術創造センター 館長) 榎山勝人(長久手市文化の家 事務局長) 浅野芳夫(愛知県芸術劇場 劇場運営部長) 会場:小ホール	13:10 ゼミ8「『伝える』技術」 講師:富永広紀(りゅーとびあ 事業企画部 広報営業課) 会場:練習室C	13:00 ゼミ3「演劇ワークショップ体験①」 講師:田上豊(劇作家・演出家/田上パル主宰) 会場:展示室A
14:00	休憩(15分程度)	14:40 ゼミ9「マーケット・インか、プロダクト・アウトか」 講師:榎本広樹 会場:練習室C	休憩(15分程度)
15:00	15:00 ゼミ4「レクチャー&グループワーク 『公共って何だろう?』」 講師:米本一成ほか 会場:大会議室	15:10 ゼミ10「ワークショップ」 講師:宮本妥子、中川賢一 会場:展示室B・小ホール	15:15 ゼミ4「演劇ワークショップ体験②」 講師:田上豊 会場:展示室A
16:00	休憩(15分程度)	休憩(20分程度)	休憩(15分程度)
17:00			
18:00	17:30~20:30 共通プログラム 会場:展示室A・メグリアセントレ セントラルコート 講師:和光理奈(中京大学 スポーツ科学部スポーツ教育学科講師 同大学ダンス部監督) アシスタント:石川美樹(名鉄学園杜若高等学校 保健体育科非常勤講師/同校女子ダンス部顧問)		
19:00			
20:00			
21:00			

■2月23日(木) 第3日

【研修スケジュール】

	ホール入門コース	音楽コース	演劇コース
	コーディネーター 林 健次郎 公益財団法人愛知県文化振興事業団 愛知県芸術劇場 企画制作部長代理 兼 広報・マーケティンググループ チーフマネージャー	コーディネーター 榎本 広樹 公益財団法人新潟市芸術文化振興財団 リューとびあ 新潟市民芸術文化会館 事業企画部 音楽企画課長	コーディネーター 岩崎 正裕 劇作家・演出家、劇団太陽族主宰 AI・HALL(伊丹市立演劇ホール) ディレクター
主会場	大会議室、リハーサル室	展示室B(WS)、練習室C(ゼミ)	展示室A
10:00			
11:00	10:00 ゼミ5「企画って何だろう？ 企画書って何だろう？」 講師：小松淳子((公財)かすがい市民文化財団 事業推進グループ プロデューサー)、林健次郎 会場：大会議室	10:00 ゼミ11「目覚ましディスカッション」 ゼミ12「プログラミング～何をやらせようか」 講師：榎本広樹 会場：練習室C	10:00 ゼミ5「演劇事業による地域活性化①」 講師：松浦茂之(三重県文化会館 事業課長) 油田晃(NPO法人パフォーミングアーツ ネットワークみえ 代表理事/ 津あけぼの座・四天王寺スクエアプログラムディレクター) 会場：展示室A
12:00		11:30 ゼミ13「ギャランティ、この悩ましきもの」 講師：榎本広樹 会場：練習室C	
13:00	昼食・休憩	昼食・休憩	昼食・休憩
14:00	13:15 ゼミ6-1「ワークショップ『リードをつくる』」 講師：石田正(オーボエ奏者) 小室真美(オーボエ奏者) 水谷仁美(オーボエ奏者) 福田真規(オーボエ奏者) 会場：リハーサル室、大会議室	13:00 ゼミ14「音楽家を探す～バック買いは、おいしい？」 ゼミ15「公立ホール職員4つの役割と、Bereite dich」 講師：榎本広樹 会場：練習室C	13:00 ゼミ6「演劇事業による地域活性化②」 講師：松浦茂之 油田晃 会場：展示室A
15:00		休憩(10分程度)	
16:00	15:15 ゼミ6-2「ミニコンサート『目からうろこ、耳から???』」 講師：石田正ほか 会場：リハーサル室、大会議室	14:10 ゼミ16「リハーサル」 講師：宮本妥子、中川賢一 会場：展示室B・小ホール	休憩(15分程度)
17:00	15:45 ゼミ6-3「座談会『音楽家の日常』」 講師：石田正ほか 会場：リハーサル室、大会議室		15:15 ゼミ7「舞台創造のプロセスに参加する①」 講師：岩崎正裕、鹿目由紀(劇作家・演出家 /劇団あおきりみかん主宰) 会場：展示室A
18:00	16:30 ゼミ7「ワークショップ 『企画をつくろう！企画書をつくろう！』」 講師：林健次郎 協力：佐藤美子(豊川市文化振興課長 文化会館館長) 大森千聡(名古屋市文化振興事業団) 森有理枝(サラマンカホール) 土江香恵(武豊町民会館) 右田恵子(電気文化会館 文化事業室 副課長)	休憩(10分程度)	休憩(15分程度)
19:00	会場：大会議室	17:50 ゼミ17「本番」 講師：宮本妥子、中川賢一 会場：展示室B・小ホール	
20:00			
21:00			

■2月24日(金) 第4日

【研修スケジュール】

	ホール入門コース	音楽コース	演劇コース
	コーディネーター 林 健次郎 公益財団法人愛知県文化振興事業団 愛知県芸術劇場 企画制作部長代理 兼 広報・マーケティンググループ チーフマネージャー	コーディネーター 榎本 広樹 公益財団法人新潟市芸術文化振興財団 りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館 事業企画部 音楽企画課長	コーディネーター 岩崎 正裕 劇作家・演出家、劇団太陽族主宰 AI・HALL(伊丹市立演劇ホール) ディレクター
主会場	大会議室	練習室C	展示室A
10:00			
11:00	10:00 ゼミ8「プレゼンテーション」 講師: 林健次郎 会場: 大会議室	10:00 ゼミ18「目覚ましディスカッション」 講師: 榎本広樹 会場: 練習室C	10:00 ゼミ9「舞台創造のプロセスに参加する③」 講師: 岩崎正裕、鹿目由紀 会場: 展示室A
12:00	昼食・休憩	11:00 ゼミ19「ブランディングで集客 ～ファンになる人が集まる状態をつくろう～」 講師: 井上美穂(株式会社ルーコ 代表取締役) 会場: 練習室C	昼食・休憩
13:00			
14:00	13:00 ゼミ9「10年後の自分に手紙を書く」 ゼミ10「まとめ～疲弊しないホール職員になるために」 講師: 林健次郎 会場: 大会議室	昼食・休憩、演劇コース見学	13:00 ゼミ10「発表公演と4日間のフィードバック」 講師: 岩崎正裕、鹿目由紀 会場: 展示室A
15:00	14:30 アンケート記入・休憩・移動	14:30 アンケート記入・休憩・移動	14:30 アンケート記入・休憩・移動
16:00	15:00 修了式 会場: 小ホール		
17:00			
18:00			
19:00			
20:00			
21:00			

(1) ホール入門コース

① 総評

コーディネーター 林 健次郎

今回のラボの裏テーマとして「疲弊しないホール職員になるために」を設定した。自分の経験上、疲弊しないためには、閉ざされた職場を離れ「外の空気を吸う」のが効果的だ。外からの刺激に反応して内に秘めていたエネルギーがわいてくる。効果は抜群だ。しかし、外の空気にはどうしても有効期限がある。今回は、現場で直ぐに役立つ知識やスキルはさておき、その効果がより持続するためにはどうすれば良いかを考えた。定期的かつ継続的に研修や視察に行ける職場なら良いが、そんな恵まれた職場はなかなかない。

そこで、自分の職場（キャリア）の中で心地よい居場所を再発見してもらおうと考えた。既に知っていることを違う視点で学び直すことで、今の悩みや課題が違ったものに見えてくることを期待した。その仕掛けがうまく機能したかどうかは、まだわからないが、自分なりにベストを尽くしたつもりだ。最近、やる気も能力も高いホール職員がたくさんいる。アートマネジメントを大学で学んだという若い人も少なくない。高い志は、理想と現実のギャップを生み、悩みやストレスも生む。しかし「そのギャップを少しでも埋めるために努力することこそが、私たちの仕事である」と自信を持って言えるように（自分も）なりたい。

過去に愛知県内でステージラボが実施されたのは、06年の長久手市（当時は長久手町）だった。そのときは、講師という立場でお手伝いさせていただいたが、今回は初めてコーディネーターという大役を仰せつかった。実際のところ、私自身が最も多くのことを学んだのではないかと感じている。「教学相長」とはよく言ったもので、読書量は増えたとし、研修や学会に積極的に参加するなど、知識に対して食欲になった（気がする）。06年の長久手市、09年の富山・高岡市のラボで知り合った方々とは、今も色々なところでつながっている。今回知り合った方々とは、それ以上のつながりができそうな予感がする。近頃は、地図を広げ、「次は誰に会いに行こうか」と、思案している。

② ゼミ記録

—第1日— 2月21日（火）

ゼミ1 「イントロダクション」

講 師： 林 健次郎

アイスブレイクの鉄板である「バースデーライン」の後は、1分間の「スピード自己紹介」をした。限られた時間の中で、「過去・現在・未来」という3つの要素を織り込むことで、自分のホールの特徴や課題を絞り込んだ。次に、ペアを組んでお互いの悩み（または課題）を話し合いながら、相手の悩みを、①客観的事実、②あなたの気持ち、③意味づけ・分析、④あなたの意見・予見、⑤改善策や代替案、に分類しながら「カルテ」に書き取ることで、悩み（または課題）を因数分解するトレーニングをした。



また、このゼミを通して、「アートマネジメント」の半分を占める「マネジメント」について論理的思考に基づいてアプローチすると同時に、残りの「アート」について創造的思考を置き去りにしないことを確認した。

—第2日— 2月22日（水）

ゼミ2 「レクチャー&グループワーク『文化政策を取り巻く環境』」

講 師： 米本 一成

協 力： 浅野 芳夫、丹羽 功、靱山 勝人、藪田 哲也



文化政策を取り巻く環境について、おさらいした。自分のホールの立ち位置を確認するとともに、レクチャーとグループ・ワークを頻繁に交えながら、自分の（ホールの）考えを自分の言葉で語れるようになることを目指した。おさらいすることで、何となく知っていることや自然とやれていることを、根拠や自信を持って発言できる知識や経験へと変換していった。また、グループ・ディスカッションを交え、各ホールが異なる環境や社会課題の中で、異なる（かつ現状に則した）運営をしていることを確認した。

ゼミ3 「コミュニケーション・ツールとしての舞台技術」

講師： 丹羽 功、靱山 勝人、浅野 芳夫

「バラシ」を中心とした実地訓練を実施し、事務職にこそ知って欲しい舞台技術の基礎知識を学んだ。「仕込み」を覚えるのは、たくさんの知識や経験が必要なため、簡単ではない。しかし、「バラシ」はゴールが常に同じであるため、初心者でも完成形がイメージしやすい上、舞台備品の名前や置き場所を自然と覚えられるという利点がある。特に舞台技術の基礎中の基礎とも言える「8の字巻き」の習得は、日々のバラシ作業に参加できるようになることで、舞台現場に足を踏み入れやすくなる。結果、舞台技術スタッフとのコミュニケーションがより深まることで、企画を考えるにあたっての技術的障壁が減らせることを期待した。

舞台機構では、音響反射板を手で揺らしたり、アンバランスの綱元を操作したり、迫りに乗って奈落に降りたりするなど、たくさんの「危険」を経験した。「舞台は危険だから近寄るな」ではなく、危険である理屈を理解することで、危険な場所での立ち居振る舞いを学んだ。また、照明はバラシを2回繰り返したり、8の字巻きは、最後に「8の字巻きコンテスト」を実施したりするなど、「習うより、慣れろ」を心掛けた。



ゼミ4 「レクチャー&グループワーク『公共って何だろう?』」

講師： 米本 一成

協力： 浅野 芳夫、丹羽 功、靱山 勝人、藪田 哲也

公共・公益とは何か。平等・公平・公正とは何か。営利・収益・黒字・営業とは何か。興行・文化事業・文化政策とは何か。日々、疑問に思っている、なかなかじっくり話し合うことができないトピックについて、グループ・ディスカッションやディベートを中心に実施した。比較・対照を繰り返すことで字義を整理し、公立ホールの機能や役割についても考え方を整理した。



—第3日— 2月23日(木)

ゼミ5 「企画って何だろう？企画書って何だろう？」

講師： 小松 淳子



企画書のゴールは、公演を実施するために組織的コンセンサスを得るためのツールと捉えた。そして、ヒト・カネ・モノを動かすために、誰のために、どんな説得材料を揃えるべきかを考えた。「理解させる」ではなく「納得してもらう」企画書を書くためのコツを学んだ。また、苦手な分野を克服するために得意な分野を利用する手法として、マンガやテレビなどのメディアを活用する事例を示していただいた。

ゼミ6-1 「ワークショップ『リードをつくる』」

講師： 石田 正、小室 真美、水谷 仁美、福田 真規

オーボエ奏者の命とも言える「リード」をつくった。「糸巻き」したリードを2時間掛けて切り出しナイフで音が鳴るようになるまで丁寧に削った。より美しい音を追い求め、手間と時間を掛けるアーティストの探究心と集中力を疑似体験した。



ゼミ6-2 「ミニコンサート『目からうろこ、耳から???』」

講師： 石田 正、小室 真美、水谷 仁美、福田 真規



受講生がつくったリードを使って小さな演奏会を実施した。自分がつくったリードが演奏されることで、より能動的に、より敏感に音を聞こうと全神経が高まり、今まで気付かなかった音色の違い(リードの個性)がはっきりと聞こえるようになった。

ゼミ6-3 「座談会『音楽家の日常』」

講師： 石田 正、小室 真美、水谷 仁美、福田 真規

音楽は、演劇や舞踊などと比べると、職業が確立しているジャンルと言える。その種類も、ソリスト、楽隊、レッスンプロ…などいろいろあるが、それぞれの日常について、赤裸々なお話を伺った。音楽家は、特別な能力（技術？才能？）を持っているが、特殊（特異？）な人間ではない。多くの新任ホール職員が音楽家との接し方について悩むが、自分ができる最高のおもてなしをするのが一番良いということを学んだ。



ゼミ7 「ワークショップ『企画をつくろう！企画書をつくろう！』」

講師： 林 健次郎

協力： 佐藤 美子、大森 千聡、森 有理枝、土江 香恵、右田 恵子



豊田市文化振興財団の職員であると仮定して、豊田市が抱える課題を解決するための芸術文化プロジェクトを企画立案した。説得する相手は、4月から本庁からの異動で直属の上司となった林係長（仮）。アートに興味はないが、市民のためになることには反対はしない彼に、企画趣旨や公演選定理由をどのように説明すべきか、その訴求ポイントと方法に力点を置いた。

—第4日— 2月24日（金）

ゼミ8 「プレゼンテーション」

講師： 林 健次郎

説得すべき相手が何を望んでいるのかを見極め、訴求ポイントを絞り込んで、説得材料をそろえた。プレゼンテーションの包括では、自分の資源（知識・経験や人的ネットワーク）を活用するよう、講師からアドバイスをいただいた。そして、理論（ロゴス）でも感情（パトス）でもない、ヒトを動かす最後の要素である信頼（エトス）を、日々の業務の中で築いていくことの大切さを確認した。



ゼミ9 「10年後の自分に手紙を書く」

ゼミ10 「まとめ～疲弊しないホール職員になるために」

講師： 林 健次郎

4日間を終え、10年後の自分に手紙を書いた。①続けたこと、②変えたいこと、③新しく始めること、④感謝することについて、今の思いを書くと同時に、事前課題の「自分の悩み・課題」を記した紙を同封した。なお、この手紙は、今から10年後、愛知県内の博物館明治村から本人宛てに届く予定である。

また、今の気持ちが「細く長く」続くよう、決意を漢字一文字にしたためた。最後に、仲間たちの前で、決意表明し、このラボを締めくくった。



(2) 音楽コース

① 総評

コーディネーター 榎本 広樹

おそらくこの報告書に書いてあることの「中身」が、本当に意味を持つ・・・つまり、ある種の熱や痛みと共に感じる事ができるのは、受講者と、つきっきりでお世話して下さったごく少数のスタッフの皆様だけであろうと思うので、その方々にだけ、特に受講された 22 人の皆様に申し上げます。

貴方は、私である。なぜなら、私はかつて、ステージラボの受講者だったから。貴方が座っているそこに、私は座っていたから。

そして、私は貴方たちの敵である。なぜなら私は貴方たちに、不吉な予言をしたから。

「10年後、ここにいる半数がホールの現場にいないでしょう。15年後、ホールの現場にいる人は一桁代半ばまで減るでしょう。それが冷徹な現実だ。」などと申し上げたから。これは考えてみれば、誠心誠意尽くして下さったスタッフにとっても、極めて辛いことだった。渾身の努力の過半は、10年と持たずに公共ホール業界から流失してしまうことを意味していたから。

それに対し、受講者である貴方たちは、「光と呼べるほどの光がないのであれば、私がお前の光になろう」と言ってスタッフを涙させ、私には「最高の復讐を」と叫んだ。

結構。

受けて立とう。

私を敵に、皆でスクラムを組めば良い。手をつなぎ、肩をぶつけ合うべし。今つないだ手を決して離すな。そして10年後、15年後、私が今見ている未来とは全く異なる未来を見せてくれ。その時は快く、皆の軍門に降ることにしよう。

その日が来ることを楽しみにしています。

② ゼミ記録

—第1日— 2月21日(火)

ゼミ1 「アイスブレイク」

講師： 榎本 広樹

全員で輪になって、拍手と握手とおもちゃを使ったミニゲームで「見知らぬ人」という関係から、「握手」の距離へ、さらには4日間を共に乗り切る「同志」へと距離を縮めて行きました。さすが、ステージラボという大変な研修会にあえて参加する〇ゾの方々、思いのほかすぐに空気感が一つになったので、アイスブレイクは15分で切り上げて、その後の45分間は名刺交換タイム！さっそく受講者全員と名刺交換をした強者もいたようで、慶賀の至り。



ゼミ2 「イントロダクション&Goal! 公演1ヶ月後、机の上・・・」

講師： 榎本 広樹

今回の座学ゼミの構造についてお話ししました。

地域の公共ホールにおける「クラシック音楽公演」がテーマで、まず、公演1ヶ月後の理想像をゴールとして想定し、そこから時間軸をさかのぼって、それぞれの段階でどのような準備・過程をすれば良いのかを考える。ただ、ここで重要なのは、与えられた情報を「鵜呑みにしない」「自分で考えて、選びとる」ということ。それを受講者の皆様にはお願いしました。

そして、最初に考えたのは、顧客名簿の重要性。なぜなら、クラシック・コンサートのチケットは、極めて嗜好性の高い商品であるからです。

ゼミ3 「公演当日のアトモスフィア・・・そして今日の宿題」

講師： 榎本 広樹

コンサート当日、音楽家はどのような心理状態にあるのかを考えました。また、お客様には開演の瞬間をどのような心理状態で迎えていただきたいかを考えました。そして、それぞれに対して、ホールのスタッフができることとは何か、スタンダードとして最良のサービスは、「やわらかくて温かな空気をつくること」と「空気のようなサービス=必要なものは全てあり、不要なもの、不快なものは一切ない状態」ではないかとお話し、それを作るためには具体的にはどのようなことが必要かについて触れました。

そして、日本一簡単なキャッチ・コピーの書き方講座を行なって、宿題が出されました。また、その宿題のためにあるミッションが言い渡されました。



ゼミ4 「ミニコンサート」

講師： 宮本 妥子、中川 賢一

マリンバ・パーカッション奏者の宮本妥子さんとピアニスト中川賢一さんのミニコンサート。演奏後は各々10分間のインタビューを行いました。インタビューでは、宮本さんはその瞬間に提示された言葉がどのように自分の演奏に作用するのかという点について、音楽家ならではの感覚をお話いただきました。中川さんには、聴く人の醸し出すアトモスフィアが演奏に大きく作用するということを通じて、聴く人によって演奏は変わるということ、つまり、ライブの場において聴衆は単なる音楽の受け手ではなく、極めて積極的な行為者として、そこに在るのだということをお話いただきました。



交流会

交流会にも、宿題達成のためにミッションが課せられていた音楽コース。そのミッションとは、「キャッチ・コピーを書くために、必ず2人の音楽家のところに行って話をする」というもの。音楽家二人は食べる暇なく周りを受講者から取り囲まれて、本当にお疲れ様でした。おかげで私自身はゆっくり飲んだり食べたりできました。大先輩コーディネーターからは、「その手があったか！」とお褒めの言葉を頂戴しました。

—第2日— 2月22日(水)

ゼミ5 「目覚ましディスカッション」

講師： 榎本 広樹

「公共ホールは、専門ホールが良い。」○か、×か。あえて二者択一という極論にすることで、見えてくるものがあるように思います。何人もの人が迷いを抱えながら一つを選択したのですが、その迷いを見つめることが一番大事なことです。なぜ、自分は迷うのだろうか、その理由を考えていただきたいためにやっているカリキュラムです。すでに初日でお互いの人間関係が少しできていたようで、互いの顔を見ながら発言された方が少なからずいたのは望外でした。



ゼミ6 「ワークショップ」

講師： 榎本 広樹

公文書では有り得ない、「作家性」の強い編集という作業をしていただきました。事前課題だった1,000字作文を、その中で指定されたキーワードを活かして五行程度の詩にまとめました。これを持って、音楽家（中川賢一、宮本妥子）とのワークショップに臨むことになります。

ゼミ7 「行動分析：チケットを買うということは」

講師： 榎本 広樹

公立ホール業界でよく聞かれる言葉の一つが、「うちの地域は、有名な人でないとチケットが売れない。」。



私達は企画をする人間ですから、そこで立ち止まらないで、もう一步、考えを進めてみましょう。なぜ、人は有名な人の出演する公演のチケットは買うのか。なぜ、無名人のチケットは買わないのか。やがて見えてくるのは、チケットを買うという行動は、いつも「信用買い」だということです。有名な人を信用して、お客様はチケットを買う。ということは、無名人の場合、出演者の他の誰かがお客様の信用を得ないとチケットは売れないということです。さて、それは誰？

ゼミ8 「『伝える』技術」

講師： 富永 広紀

「りゅーとぴあには、こんな専門性を持ったスタッフがいるのか」と、聴講者から驚嘆されたこの講座。終了後はゲスト講師の元に名刺交換を求める長蛇の列が。

お客様からチケットを買っていただくためには、その公演の魅力がお客様に伝わらなければなりません。現代における様々な手法・着眼点について、どうやらとても刺激的な講座となった様子でした。

そして、受講者が初日の宿題として書いていた、中川賢一さんと宮本妥子さんについてのキャッチ&リード文の、富永賞、中川賞、宮本賞、榎本賞の発表がなされました。



ゼミ9 「マーケット・インか、プロダクト・アウトか」

講師： 榎本 広樹

マーケット・インか、プロダクト・アウトか。この視点は、企画を考えるときに絶対に必要だと思います。なぜならこの視点がないと、その企画の目的が明確にならず、結果として評価ができないから。そしてそれを視野に入れておくと、単に売れる企画が良いとか悪いとかという思考に陥らずにすむからです。そして、それを補足する理屈付けとして、私達の仕事が今どのような法体系の上にあるのかを垣間見ました。



ゼミ10 「ワークショップ（音楽家と、共に努力する時間。）」

講師： 宮本 妥子、中川 賢一

11人ずつのグループに分かれて、春夏秋冬をテーマにした詩を書いた人は宮本妥子さんのもとへ。現在・過去・未来をテーマにした人は中川賢一さんのもとへと向かいました。そして、翌日に向けて、発表作品作り。アーティストという存在が信じられないような力を発揮する瞬間が、連続して体験できた稀有な時間となりました。



—第3日— 2月23日（木）

ゼミ11 「目覚ましディスカッション」

講師： 榎本 広樹

「公共ホールの自主事業は、市民のニーズに応じていれば良い。」○か、×か。

このテーマに、全員×。まさかこのようなことになるとは・・・ある意味、狙い通りでした。その結果、全員が、「市民が払った税金で運営される公共ホールが、なぜ市民の大多数が望まない自主事業（＝クラシックなど）をやることを許されるのか。職員はなんの権限があってそのような判断をするのか。」という切実な問いを突きつけられることになりました。

ゼミ 12 「プログラミング～何をやらせようか」

講師： 榎本 広樹

私達は、自分のホールで主催するコンサートで音楽家がルーティンに落ちた演奏などしてほしくない。生命をかけて良い演奏をしてほしいと願っている。でも、音楽家にとってはどうでしょう。年間数十回あるコンサートの一つに過ぎないのかもしれませんが。では、私達に何が出来るか。

貴方でなければならぬ理由をちゃんと伝えること。「貴方の〇〇を聴かせてほしい」と伝えることができれば、そのコンサートは「その他多くのコンサートの中の1つ」ではなくなります。また、「ただ有名曲を」とオーダーするのは愚の骨頂。いやいや奏でている音で人の心が動くわけがない。有名曲をと依頼するからには音楽家自身の内に、「この有名曲を弾くのだ」という必然性が生まれるようにしなければならない、というお話。

ゼミ 13 「ギャランティ、この悩ましきもの」

講師： 榎本 広樹

「最少の経費で最大の効果」を狙うのは、税金を使っている以上、絶対に必要なことです。でもその一方、一人のアーツ・マネージャーでもある公共ホール職員の責務としては、芸術家が社会の中で生きていくことのできるようにする、そのための働きかけをするという任も担っています。この二律背反を乗り越える方策はないのか。物理的な解決策。音楽家の人間としての欲求を満たす策。音楽家の音楽家としてのニーズを満たす策の、少なくとも3つは解決策があるのではないのでしょうか。

ゼミ 14 「音楽家を探す～バック買いは、おいしい？」

講師： 榎本 広樹

首都圏に演奏家が集中する中、どのように音楽家を探したら良いのでしょうか。解決策は少なくとも2つ。まず、ネット上では世界は同一の地平であるから、そこにアップされた情報は知らなかったでは済まされない。自分にとって有益な道案内が得られる情報源を見つけて、そこは定期的にチェックするようにしましょう。もう一つは、良い外部アンテナに接続すること。自分たちの価値基準（ネーム・バリューなどの自分たち以外の価値基準ではなく）によって出演する音楽家を選択し続けていけば、わずか3年ほどで、そういう価値基準を理解し、尊重してくれるマネージャー、業界関係者と出会うことができます（その実例が私です）。彼らから教えを乞うことで、ネットには載らない情報が入ってくる。それが次の企画の種になっていくのです。

ゼミ 15 「人口の少ない地域でのチケット・セールス」

講師： 榎本 広樹

当初の予定を変更して、この内容に。大都市部におけるチケット・セールスの好例は、一つは兵庫県立芸術文化センターであり、もう一つは武蔵野市民文化会館。兵庫芸文からはこのコースに受講者がいるので、本人に聴くのが良いと思いましたが、都市部ではない地域でのチケット・セールスについて例示がほしいということでしたので、参考書「予約会員獲得のすすめ」(D. ニューマン著 芸団協出版部)の紹介と、それをアレンジして取り組んだ新潟県魚沼市の事例を紹介しました。

ゼミ16 「リハーサル（音楽家と、共に努力する時間。その2）」

講師： 宮本 妥子、中川 賢一

さあ、いよいよ本番に向かって中身を詰めていくワークショップです。2つのグループは好対照。言葉を頼りに、お互いに影響し合うことを箱庭のような精緻さで実現することを目指した宮本妥子組。一方は言葉も「音」として捉えて外に向かって強烈なエネルギーを開放しようとする中川賢一組。過程も全く別で、間をとりながら言葉とお互いの関係性が染み込む時間を重視した宮本組に対し、最後の最後までグツグツと強火で煮込み続けた中川組でありました。



ゼミ17 「本番（《発表》詩の朗読と、音楽）」

講師： 宮本 妥子、中川 賢一

演劇コースと事務局の皆様のご列席をいただいて、2つのグループ発表。録音ということができなかった時代そのままに、過ぎてしまった後はもう二度と味わうことのできない時間を体験することができました。なので、特に論評はいたしません。その場にいた方の心の中だけに、質感が残る。ライブとは、そういうものだと思います。



—第4日— 2月24日（金）

ゼミ18 「目覚ましディスカッション」

講師： 榎本 広樹

「本当に良い音楽は、全ての人が感動する。」○か、×か。

このテーマでは、大別すると3つの意見に集約されるようでした。一つは、それは有り得ないという否定派。あつてはいけないのではないかと警笛を吹き鳴らす派。もう一つは、あつて欲しいという願望の表明。でも俯瞰してみると、議論は終始、「感動する、ということはどういうことか」ということの周りをぐるぐると回っているようでした。

ゼミ19 「ブランディングで集客～ファンになる人が集まる状態をつくろう～」

講師： 井上 美穂

ビジネス・イン・ジ・アーツという標語が流行ったのは20年くらい前ですが、公共ホール業界においては残念ながらそれが今も喫緊の課題だということを目の当たりに感じました。徹頭徹尾、現場で培われた手法に則って受講者全員を導いていく講義は、ブランディングを頭で理解するのではなく、手で触れるかのようなワクワクする実感を与えてくれるものでした。99%の公立ホールは、ブランディングの視点を持っていない。それで「お客様が来ない」と嘆いているのは、笑止と言えましょう。井上さんのような会社と、中規模ホールがタッグを組んで企画展開にあたったら、とんでもない結果が生まれるのではと予感させるあつという間の2時間でした。



「演劇コース発表見学」

講師： 榎本 広樹

「おもしろかったー」というのが感想の第一声。一般のお客ではなく、仮にもホールの職員なのであるから、もう少し言葉があつても良いのではとも思いましたが、まあ、4日間のラボの、いわばボーナスとして拝見させていただいた発表でありました。演劇コースの皆様、ありがとうございました。

「公共ホール職員4つの役割と『覚悟せよ』」

講師： 榎本 広樹

芸術の価値とは何か。感動するということは何か。そのことについて、自分なりの言葉を見つけてくださいと呼びかけた。そうしないと、この仕事を長く続けていくことが辛くなるから。

その上で、地域における公共ホール職員の仕事は、次の4つとまとめることができるでしょう。

芸術家と、芸術の話ができること

芸術家に、地域の話ができること

地域の人と、地域の話ができること

地域の人に、芸術の話ができること

これをできるだけ良くできるようにになりたいと思って、私は仕事をしています。さらに私たちには義務があることを忘れてはいけません。私達には、主催者側の一員として企画を提案することを許されています。一般の市民には、これは許されていません。「特権を持つ者は、倫理上、それを持たない人々への義務を負う」と考えるなら、当然私達も、何らかの義務が背負わされていると考えるべきでありましょう。その十字架を、十字架の重さを忘れないで仕事を続けてください。と申し上げて、4日間のゼミのまとめとしました。

(3) 演劇コース

① 総評

コーディネーター 岩崎 正裕

初めてステージラボのコーディネーターを担当させていただいた。豊田市での開催ということで、気心の知れた文化振興財団のスタッフの皆さまには本当によくしていただいた。豊田では何度もアウトリーチに出掛けている。表現者として、ファシリテーターとして、この土地で鍛えていただいて今日の私がいることに感謝したい。

今回のステージラボでは「地域社会と演劇」という視点からプログラムを作らせてもらった。私は制作側の人間ではなく、劇作演出に軸足を置いている。故に地域社会に対して、どのように演劇が有効な働きかけができるかを、参加者と共に考えるスタンスで臨んだ。参加者の何割かは演劇事業に直接関わった経験が少なく、演劇そのもののイメージの擦り合わせが必要だと感じた。まず、一日目は互いをよく知ることから始めた。最初は緊張していた参加者がワークショップを通じて解きほぐれていき、四日間の時間を共有するベースが出来たと思っている。ステージラボに限らず、初対面の人たちが利害なくフラットな関わりを持てる場作りに演劇は貢献できることを実感出来たのではないだろうか。

二日目の午前は、地域に密着した劇場を代表して津村卓さんと山口英樹さんにご登壇いただき、劇場法の序文から劇場のミッションについて、事例を交えてお話しいただいた。午後は田上豊さんのワークショップ。「助け合う、伝え合う、演じ合う」をキーワードに、会場となった館全体を参加者がロケーションし、各所で実演が行われた。演劇の広がりと多様性を実感する機会となったのではないだろうか。

三日目は、三重から松浦茂之さんと油田晃さんにお越しいただき、公共と民間の協力体制を主軸にお話しいただいた。民間劇場だけでは出来ない取り組みを、商店などと連携し、公共ホールが支える。地域活性化の先進事例に、多くの参加者が自分の地域でどんな展開が出来るか、重要なヒントをいただいた。その後、地域資源を使った事業組み立てのシミュレーションに移り、グループでのプレゼンを行った。

そして、いよいよ四日目の作品発表に向けて、豊田とも関わりが深い鹿目由紀さんのワークショップとなった。イメージネーションを刺激するプログラムから、2班体制で台本を使って作品を発表する。限られた時間の中で、誰もが台本を持たずに演じたことが印象的だった。全体に集中力の高い四日間となったと思っている。最後のフィードバックでは、最初に出会ったときの表情とどう変わった、打ち解けた表情の参加者たちがいた。演劇は時間と労力があまりに必要なため、地域での創作に積極的でない劇場も多い。しかし知恵と工夫次第で地域活性化に貢献できる。そのことを参加者それぞれが、身に染みて感じ取れたのではないだろうか。演劇が地域にとっての、誰もが入れる広場となることを願う。

② ゼミ記録

—第1日— 2月21日（火）

ゼミ1 「自己紹介」

講 師： 岩崎 正裕

それぞれの名付けの由来や、育った地域の紹介は時間をかけて丁寧に。他己紹介は漫才風にお互いの良いところと困ったところを掛け合いで。一音詩は一人一音のみ発語して、即座に連鎖して文章を作る。いずれもコミュニケーションを中心としたプログラム。初めは表情の硬かった参加者が、段々と打ち解け四日間の時間を共にするベースが整った。演劇アウトリーチの可能性を自ら体感する機会となったのではないだろうか。



—第2日— 2月22日（水）

ゼミ2 「アウトリーチから見える地域」

講 師： 山口 英樹、津村 卓

地域との連携を事業の柱とする劇場から、津村卓さんと山口英樹さんにお越しいただいた。山口さんが館長を務めるAI・HALLは伊丹市にあり、19万都市の劇場。一方、津村さんが劇場顧問を担う北九州市は政令指定都市。規模は違えど、街の歴史を聞き取りから舞台化する事業の根幹は一致している。北九州芸術劇場は企業や商店との連携でダンスを作り、市民の芸術への理解を促す。劇場法の序文の読み解きから、地域における劇場のミッションを考えた。



ゼミ3、4 「演劇ワークショップ体験①、②」

講師： 田上 豊

田上パル主宰の田上豊さんのワークショップを体験した。田上さんは各地での学校へのアウトリーチを数多く手掛ける。進行の手順や参加者への言葉かけなど、丁寧で手際がよい。「助け合う、伝え合う、演じ合う」を合言葉に進行した。プログラムに向き合う中で、参加者たちは自然に共有する感覚のようなものを見つけていく。館内をロケーションして自ら演じる場所を決めて発表した。ステージでなくても演劇が成立する移動型の可能性も提示されたのではないかと。最後は座学形式で、田上さんがワークショップにおいて大切にしていることなどをお話いただき、理念共有の機会となった。質問も多数出て、参加者の積極性が場を作った。



—第3日— 2月23日（木）

—第4日— 2月24日（金）

ゼミ5 「演劇事業による地域活性化①」

講師： 松浦 茂之、油田 晃

三重県文化会館から松浦茂之さんを、津市で民間の劇場、あけぼの座と四天王寺スクエアを運営する油田晃さんをお招きした。三重県はこのところ、演劇を基軸とした地域への展開が全国的に注目を集めている。鑑賞型の若手支援は公共が受け持ち、小規模の地域劇団はあけぼの座などの小劇場で作品を発表する。地域間交流が多様な演劇への鑑賞眼を育む。三重県文化会館は公共でありながら、24時間体制で稽古場提供を実施するなど、最大限に門戸を開いている。また、飲食店と連携して食事とリーディングを楽しむM-PADもシリーズ化して定着している。その広告戦略も、しっかりと制作側が提示している。



ゼミ6 「演劇事業による地域活性化②」

講師： 松浦 茂之、油田 晃

午後からは、油田さんがファシリテーターとなり、地域の文化資源から演劇事業を考案した。グループワークでの作業となったが、指定された地域や予算規模から夢のあるプランがプレゼンされた。長崎の路面電車の中で上演が行われ、劇場につながる案など秀逸な企画が複数生まれた。松浦さんがプランに対してコメントを述べるのだが、ときに提案者の上司を演じるなど劇的な笑いに包まれる一幕もあり、和やかなが実践的なゼミとなった。



ゼミ7、8、9 「舞台創造のプロセスに参加する①、②、③」

講師： 岩崎 正裕、鹿目 由紀

名古屋を拠点とする演出家で劇作家の鹿目由紀さんのワークショップから上演につなげる。鹿目さんは豊田市でも市民参加劇を手掛けるなど、会場となった豊田市民会館とも関わりが深い。今回、参加者は三つのワークショップを体験することとなったが、私(岩崎)と田上さんのプログラムはコミュニケーションを主体としたものだった。鹿目さんのプログラムは、どちらかと云えばイメージーションを最大限に活用する手法。恋人が亡くなった、雪が降ってきたなど、外的要因から身体を導いていく俳優訓練として本格的なもの。このプログラムで演じることへの下地が整った。

翌日の発表公演では音楽コースの皆さんを客席にお迎えする。少ない稽古時間の中ではあったが、二班に分かれて音楽コースの発表を観させていただいた。私は一方しか観ることが叶わなかったが、自由に発想された詩の群読と、中川賢一さんの力強いピアノが絡み合い、ため息が出るような美しい空間が現れた。演劇コースの参加者は、自分たちの発表に向けて、意欲を高める機会ともなった。

ゼミ10-1 「発表公演」

講師： 岩崎 正裕、鹿目 由紀

鹿目さんと岩崎で、予め台本を書き下ろしていた。シチュエーションは「どこだか分からない場所に集められた人たち」を共通項とした。その台本を作と演出で交換し、二班に分かれて演じる。鹿目さんの台本は、登場人物それぞれの背景が知らされていないことを逆手に取って、人物の年齢や職歴などが大きく逸脱していく。岩崎の台本は、とある地方都市の文化施設の一室に集まった人びとが、文化芸術への無理解と対峙するお話。共に10分程度の作品であったが、参加者全員が台詞を覚えて、関係を大切にしながら舞台に立った。客席からの笑い声と暖かい拍手に支えられて幕となった。参加者は制作の担い手であるが、俳優が何を考えてステージに向かうのか、それを知っておくことは重要だ。舞台創造のプロセスを体験することが、細やかな配慮ある仕事に結びつくことを気づいていただけたのではないかと思う。



ゼミ10-2 「4日間のフィードバック」

講師： 岩崎 正裕、鹿目 由紀

舞台に立った高揚感を胸に、四日間の振り返りを行った。鹿目さんにも立ち合っていただき、上演までのプロセスの検証も交えた。やはり演じることで、座学を含む四日間のゼミが腑に落ちたとそれぞれが語った。各地に帰り、実務をこなす参加者たちは、それぞれに人として理解しあい、このステージラボで大きなネットワークを手に入れたのではないか。孤立ではなく、そこかしこで苦勞している担当者がいるという連帯感が、明日の文化事業を前に導くのではないだろうか。



3 共通プログラム

『豊田の中心でモブが踊る！！』（フラッシュモブ体験）

(1) 日時・会場

2月22日（水）17:30～20:30

豊田市民文化会館 市民ロビー、メグリアセントレ セントラルコート

(2) 講師

振付・構成：和光理奈（中京大学 スポーツ科学部スポーツ教育学科講師 同大学ダンス部監督）

アシスタント：石川美樹（名鉄学園杜若高等学校 保健体育科非常勤講師・同校女子ダンス部顧問）

(3) 出演者

ホール入門コース、音楽コース、演劇コース参加者のみなさん

(4) 概要及び目的

豊田市民文化振興財団では、舞台芸術の中核を担う人材育成を目的とした事業【とよた演劇アカデミー】の前期プログラムにおいて、「創作ダンスワークショップ」を実施した。講師である中京大学和光氏の指導には、「普段スポーツや体を動かすことが苦手な人も、コミュニケーションを取りながら一つダンスを創りあげていく中で、『苦手』が『楽しい』に記憶が塗り替えられていく」という特徴があり、指導スタイル、プロセスにおいて効果的に発揮されていくことを見聞することとなる。

今回の共通プログラムでは、今までに培われた地元大学と文化事業の連携の一例を知ってもらうとともに、創作ダンスに参加し表現する側に立つことで、「楽しみ」や「喜び」を体感していただくことを主眼とし、企画・実施に至った。



(5) 内容

まず豊田市民文化会館の市民ロビーにて和光氏による振付ワークショップが行われた。振付の1つであるイニシャルダンスでは、自分のイニシャルを身体の一部で自由に表現したり、参加者が無秩序にペアや3人組に分かれる動きを取り入れるなど、参加者の自由な表現も尊重されたものであった。練習会場で体力を使い切ってしまうのではないかと感じるほど盛り上がりを見せたワークショップを終え、参加者は本番会場である豊田市駅近くの商業施設メグリアセントレへ移動した。

20時過ぎ、スピーカーから流れるクリス・ハートの「ビューティフル・ネーム」のイントロをきっかけに、通行人を装い日常の光景に溶け込んでいた参加者が指定の場所に集まり、カラフルな衣装を身に纏いダンスの成果を披露した。曲が終了すると参加者はまた通行人として各々に散っていき、会場は日常的な商業施設の光景に戻っていった。ダンスを披露した後の参加者の表情から、表現者側としての「楽しみ」や「喜び」を十分に体感してもらえたのではないだろうか。

V 参加者リスト

ステージラボ上田セッション参加者リスト

都道府県名	ふりがな	所属	担当施設名	
	参加者氏名	職名	開館年	
No.	所属住所		ホール1	座席数
			ホール2	座席数
	TEL/FAX		ホール3	座席数
			自主事業	事業予算

【参加者名簿】

1.ホール入門コース

01.北海道	はなぞの けん 華園 健	一般財団法人中標津町文化スポーツ振興財団 文化振興課 文化振興係	中標津町交流センター 開館年 1994年 大集会室 432㎡
	No. 1 〒 088-2682 北海道標津郡中標津町計根別南1条東2丁目1番地10 中標津町交流センター内 TEL 0153-78-2270 / FAX 0153-78-2270		- - 自主事業 c. 11本~20本 事業予算 b. 1円~1,000万円未満
02.青森県	みずの しげき 水野 茂樹	八戸市 新美術館建設推進室 主査	八戸市美術館 開館年 2020年 延べ床面積(見込) 3500㎡
	No. 2 〒 031-0031 青森県八戸市番町10-4 TEL 0178-45-8345 / FAX 0178-24-4531		- - 自主事業 b. 1本~10本 事業予算 e. 5,000万円~1億円未満
04.宮城県	やえがし たかゆき 八重樫 孝幸	仙南地域広域行政事務組合 仙南芸術文化センター 次長	仙南芸術文化センター(えずこホール) 開館年 1996年 大ホール 802席 平土間ホール 300席 会議室1室、練習室3室
	No. 3 〒 989-1267 宮城県柴田郡大河原町字小島1-1 TEL 0224-52-3004 / FAX 0224-51-1130		自主事業 d. 21本以上 事業予算 d. 3,000万円~5,000万円未満
07.福島県	こまつ えり 小松 絵里	いわき芸術文化交流館アリオス 企画制作課制作第一グループ	いわき芸術文化交流館アリオス 開館年 2008年 大ホール 1705席 中劇場 687席 小劇場 233席
	No. 4 〒 970-8026 福島県いわき市平字三崎1番地の6 TEL 0246-22-8111 / FAX 0246-22-8181		自主事業 d. 21本以上 事業予算 f. 1億円以上
08.茨城県	しまだ りゆうたろう 島田 竜太郎	小美玉市役所 市民生活部 生活文化課 主事	小美玉市四季文化館(みの~れ) 開館年 2002年 大ホール 600席 小ホール 300席 練習室1 50.8㎡
	No. 5 〒 319-0132 茨城県小美玉市部室1069 TEL 0299-48-4466 / FAX 0299-48-4467		自主事業 d. 21本以上 事業予算 c. 1,000万円~3,000万円未満
10.群馬県	ふじた かずよし 藤田 和良	邑楽町教育委員会 生涯学習課 邑楽町公民館 館長兼係長・社会教育主事	邑楽町中央公民館 開館年 2018年 建物面積 1556㎡
	No. 6 〒 370-0603 群馬県邑楽郡邑楽町大字中野3170 TEL 0276-88-1290 / FAX 0276-88-7645		- - 自主事業 b. 1本~10本 事業予算 b. 1円~1,000万円未満
11.埼玉県	くろす たかひろ 黒須 貴浩	蓮田市教育委員会 生涯学習部文化スポーツ課 主事補	蓮田市総合文化会館ハストピア 開館年 2016年 どきどきホール 643席
	No. 7 〒 349-0133 埼玉県蓮田市大字関戸2343番地2 TEL 048-768-4117 / FAX 048-768-4101		- - 自主事業 b. 1本~10本 事業予算 b. 1円~1,000万円未満
13.東京都	かねこ あさみ 金子 麻美	公益財団法人としま未来文化財団 みらい文化課プランセクション	- 開館年 -
	No. 8 〒 170-0013 東京都豊島区東池袋1-20-10 TEL 03-3590-7118 / FAX 03-3984-0865		- - 自主事業 d. 21本以上 事業予算 d. 3,000万円~5,000万円未満

【参加者名簿】

1.ホール入門コース

20.長野県	なかだ まいこ 中田 麻衣子	株式会社地域文化創造 学芸部 学芸員	茅野市民館／茅野市美術館 開館年 2005年 マルチホール 780席 コンサートホール 300席 美術館(常設展示室) 350㎡ 自主事業 c. 11本～20本 事業予算 d. 3,000万円～5,000万円未満
	No. 9	〒 391-0002 長野県茅野市塚原一丁目1番1号 TEL 0266-82-8222 / FAX 0266-82-8223	
20.長野県	いおか たかし 井岡 孝志	一般財団法人塩尻市文化振興事業団 施設係	塩尻市文化会館 開館年 1996年 大ホール 1206席 中ホール 406席 - 自主事業 d. 21本以上 事業予算 -
	No. 10	〒 399-0738 長野県塩尻市大門七番町4番8号 TEL 0263-53-5503 / FAX 0263-54-1103	
21.岐阜県	みやけ あさこ 三宅 朝子	公益財団法人多治見市文化振興財団 多治見市文化会館	多治見市文化会館 開館年 1981年 大ホール 1314席 小ホール 402席 - 自主事業 d. 21本以上 事業予算 e. 5,000万円～1億円未満
	No. 11	〒 507-0039 岐阜県多治見市十九田町2-8 TEL 0572-23-2600 / FAX 0572-23-7555	
23.愛知県	まつもと しんたろう 松本 信太郎	武豊町民会館(ゆめたろうプラザ) 武豊町教育委員会 生涯学習課 武豊町民会館 主事	武豊町民会館(ゆめたろうプラザ) 開館年 2004年 輝きホール 678席 響きホール 230席 - 自主事業 d. 21本以上 事業予算 c. 1,000万円～3,000万円未満
	No. 12	〒 470-2555 愛知県武豊町字大門11番地 TEL 0569-74-1211 / FAX 0569-74-1227	
23.愛知県	すずき ふみこ 鈴木 史子	公益財団法人かすが市民文化財団 広報コミュニケーショングループ スタッフ	文化フォーラム春日井／春日井市民会館 開館年 1966年/1999年 春日井市民会館 1022席 文化フォーラム春日井・視聴覚ホール 198席 - 自主事業 d. 21本以上 事業予算 e. 5,000万円～1億円未満
	No. 13	〒 486-0844 愛知県春日井市鳥居松町5-44 TEL 0568-85-6868 / FAX 0568-82-0213	
23.愛知県	あさくら たつや 朝倉 達也	一般社団法人岡崎パブリックサービス 会館事業部会館施設1課市民会館係施設員	岡崎市民会館 開館年 2016年(改修工事中) 岡崎市民会館ホール 1100席 甲山ホ会館 300席 - 自主事業 b. 1本～10本 事業予算 b. 1円～1,000万円未満
	No. 14	〒 444-0072 愛知県岡崎市六供町字出崎15番地1 TEL 0564-21-9121 / FAX 0564-21-6973	
27.大阪府	あき しのぶ 安藝しのぶ	公益財団法人茨木市文化振興財団 文化事業係	茨木市民総合センター／茨木市福祉文化会館 開館年 1989年/1981年 センターホール 426席 文化ホール 345席 LIVE302 130席 自主事業 d. 21本以上 事業予算 d. 3,000万円～5,000万円未満
	No. 15	〒 567-0888 大阪府茨木市駅前四丁目6番16号 TEL 072-625-3055 / FAX 072-625-3036	
33.岡山県	こばやし えりこ 小林 枝里子	公益財団法人岡山シンフォニーホール 管理部	岡山シンフォニーホール 開館年 1991年 大ホール 2001席 イベントホール 200席 - 自主事業 d. 21本以上 事業予算 f. 1億円以上
	No. 16	〒 700-0822 岡山県岡山市北区表町1-5-1 TEL 086-234-2001 / FAX 086-234-1968	

【参加者名簿】

1.ホール入門コース

36.徳島県	ふじかわ かよこ 藤川 佳代子	徳島市 文化振興課 主査	名称未定
			開館年 -
No. 17	〒 770-8571 徳島県徳島市幸町2丁目5番地 TEL 088-621-5178 / FAX 088-624-1281		-
			自主事業 - 事業予算 -
39.高知県	じんぜんじ なほ 秦泉寺 なほ	高知県文化財団 高知県立美術館ホール 企画事業課 契約職員	高知県立美術館ホール
			開館年 1993年
No. 18	〒 781-8123 高知県高知市高須353-2 TEL 088-866-8000 / FAX 088-866-8008		高知県立美術館ホール 399席
			自主事業 b. 1本~10本 事業予算 c. 1,000万円~3,000万円未満
40.福岡県	ごとう かずふみ 後藤 一文	公益財団法人北九州市芸術文化振興財団 音楽事業課	北九州市立 響ホール
			開館年 1993年
No. 19	〒 805-0062 福岡県北九州市八幡東区平野1-1-1 国際村交流センター内 TEL 093-663-6661 / FAX 093-662-3028		大ホール 720席
			リハーサル室 173㎡ 研修室 50㎡ 自主事業 c. 11本~20本 事業予算 d. 3,000万円~5,000万円未満
45.宮崎県	はやしだ ことり 林田 古都里	公益財団法人宮崎県立芸術劇場 企画広報課 企画制作係	宮崎県立芸術劇場
			開館年 1993年
No. 20	〒 880-8557 宮崎県宮崎市船塚3丁目210番地 TEL 0985-28-3208 / FAX 0985-20-6670		アイザックスターンホール 1818席
			演劇ホール 1112席 イベントホール 300席 自主事業 d. 21本以上 事業予算 f. 1億円以上
47.沖縄県	おおがねく ともみ 大兼久 智美	名護市教育委員会 社会教育課 地域創造係	名護市民会館
			開館年 1985年
No. 21	〒 905-0014 沖縄県名護市港二丁目1番1号 TEL 0980-53-5427 / FAX 0980-53-5426		大ホール 1054席
			中ホール 約350席 自主事業 c. 11本~20本 事業予算 b. 1円~1,000万円未満

【参加者名簿】

2.自主事業Ⅰ(音楽)コース

03.岩手県	こせき ありさ	公益財団法人盛岡市文化振興事業団 企画事業部 主事 兼 盛岡市市民文化ホール 主事	盛岡市市民文化ホール
	小関 ありさ		開館年 1998年
No. 1	〒 020-0045 岩手県盛岡市盛岡駅西通2-9-1 マリオス内 TEL 019-621-5151 / FAX 019-621-5101		大ホール 1510席 小ホール 350席 展示ホール 576㎡ 自主事業 c.11本~20本 事業予算 d.3,000万円~5,000万円未満
	07.福島県		いわき芸術文化交流館アリオス
No. 2	さいとう はるか 齋藤 悠	いわき芸術文化交流館アリオス 施設管理課 施設サービスグループ	開館年 2008年
	〒 970-8026 福島県いわき市平字三崎1番地の6 TEL 0246-22-8111 / FAX 0246-22-8181		大ホール 1705席 中劇場 687席 小劇場 233席 自主事業 d.21本以上 事業予算 f.1億円以上
07.福島県		公益財団法人南相馬市文化振興事業団	南相馬市市民文化会館 ゆめはっと
No. 3	かとうの けい 上遠野 溪	事業係事業兼市民参加担当	開館年 2004年
	〒 975-0008 福島県南相馬市原町区本町2丁目28番地の1 TEL 0244-25-2763 / FAX 0244-25-2765		大ホール 1109席 多目的ホール 144.3㎡ 自主事業 c.11本~20本 事業予算 e.5,000万円~1億円未満
08.茨城県		小美玉市役所	小美玉市小川文化センター(アピオス)
No. 4	よこやま ゆういちろう 横山 雄一郎	市民生活部 生活文化課 主幹	開館年 1982年
	〒 311-3423 茨城県小美玉市小川225番地 TEL 0299-58-0921 / FAX 0299-58-0923		大ホール 1200席 小ホール 300席 自主事業 c.11本~20本 事業予算 c.1,000万円~3,000万円未満
11.埼玉県		公益財団法人 入間市振興公社	入間市産業文化センター
No. 5	きし あつや 岸 篤也	入間市産業文化センター 主任	開館年 1984年
	〒 358-0001 埼玉県入間市向陽台1-1-7 TEL 04-2964-8377 / FAX 04-2964-8378		コミュニティホール 442席 自主事業 b.1本~10本 事業予算 b.1円~1,000万円未満
13.東京都		公益財団法人としま未来文化財団	-
No. 6	みやもと かづき 宮本 佳月	みらい文化課プランクション	開館年 -
	〒 170-0013 東京都豊島区東池袋1-20-10 TEL 03-3590-7118 / FAX 03-3984-0865		自主事業 d.21本以上 事業予算 d.3,000万円~5,000万円未満
14.神奈川県		公益財団法人横須賀芸術文化財団	横須賀芸術劇場
No. 7	さくま よういち 佐久間 陽一	業務部事業課 主任	開館年 1994年
	〒 238-0041 神奈川県横須賀市本町3-27 TEL 046-828-1603 / FAX 046-828-1623		よこすか芸術劇場 1806席 ヨコスカ・ベイサイド・ポケット 574席 自主事業 d.21本以上 事業予算 f.1億円以上
18.福井県		公益財団法人福井市ふれあい公社	福井市文化会館
No. 8	やまぎし まゆみ 山岸 眞弓	福井市文化会館 主幹	開館年 1968年
	〒 910-0019 福井県福井市春山2-7-1 TEL 0776-20-5010 / FAX 0776-24-9198		福井市文化会館 1162席 自主事業 b.1本~10本 事業予算 b.1円~1,000万円未満

【参加者名簿】

2.自主事業 I (音楽)コース

20.長野県	ごうど かな 神戸 加奈	一般財団法人塩尻市文化振興事業団 事業係	塩尻市文化会館 開館年 1996年 大ホール 1206席 中ホール 406席 -
	No. 9 〒 399-0738 長野県塩尻市大門七番町4番8号 TEL 0263-53-5503 / FAX 0263-54-1103		自主事業 d. 21本以上 事業予算 -
23.愛知県	にしな ともひろ 仁科 智広	公益財団法人 豊田市文化振興財団 豊田市コンサートホール・能楽堂	豊田市コンサートホール・能楽堂 開館年 1998年 コンサートホール 1004席 能楽堂 458席 多目的ルーム 90㎡
	No. 10 〒 471-0025 愛知県豊田市西町1-200 TEL 0565-35-8200 / FAX 0565-37-0011		自主事業 d. 21本以上 事業予算 f. 1億円以上
28.兵庫県	やた つばさ 矢田 翼	公益財団法人神戸市民文化振興財団 神戸文化ホール 事業一部 自主事業チーム	神戸文化ホール 開館年 1973年 大ホール 2043席 中ホール 904席 -
	No. 11 〒 650-0017 兵庫県神戸市中央楠町4丁目2-2 神戸文化ホール内 TEL 078-351-3535 / FAX 078-351-3121		自主事業 d. 21本以上 事業予算 e. 5,000万円~1億円未満
31.鳥取県	のだ けいこ 野田 景子	公益財団法人鳥取県文化振興財団 企画制作部 制作・学芸課	とりぎん文化会館(鳥取県立県民文化会館) 開館年 1993年 梨花ホール 2000席 小ホール 500席 -
	No. 12 〒 680-0017 鳥取県鳥取市尚徳町101-5 TEL 0857-21-8700 / FAX 0857-21-8705		自主事業 c. 11本~20本 事業予算 f. 1億円以上
34.広島県	よしはら ふみやす 吉原 史鎮	公益財団法人 広島市文化財団 アステールプラザ アステールプラザ 事業推進員	JMSアステールプラザ 開館年 1991年 大ホール 1204席 中ホール 547席 多目的スタジオ 285席
	No. 13 〒 730-0812 広島県広島市中区加古町4-17 TEL 082-244-8000 / FAX 082-246-5808		自主事業 d. 21本以上 事業予算 e. 5,000万円~1億円未満
34.広島県	ふるもと ゆき 古本 幸	公益財団法人 呉市文化振興財団 -	呉市文化ホール 開館年 1989年 呉市文化ホール 1802席 -
	No. 14 〒 737-0051 広島県呉市中央3丁目10番1号 呉市文化ホール内 TEL 0823-25-7878 / FAX 0823-23-6511		自主事業 d. 21本以上 事業予算 b. 1円~1,000万円未満
43.熊本県	きだ ゆうすけ 貴田 雄介	公益財団法人熊本県立劇場 企画事業課 アシスタントプロデューサー	熊本県立劇場 開館年 1982年 コンサートホール 1810席 演劇ホール 1172席 -
	No. 15 〒 862-0971 熊本県熊本市中央区大江2-7-1 TEL 096-363-2233 / FAX 096-371-5246		自主事業 d. 21本以上 事業予算 f. 1億円以上
44.大分県	やさか ちかげ 八坂 千景	公益財団法人 大分県芸術文化スポーツ振興財団 企画普及課 嘱託職員	iichiko総合文化センター 開館年 1998年 iichikoグランシアタ 1966席 iichiko音の泉ホール 710席 -
	No. 16 〒 870-0029 大分県大分市高砂町2-33 TEL 097-533-4004 / FAX 097-533-4013		自主事業 c. 11本~20本 事業予算 e. 5,000万円~1億円未満

【参加者名簿】

2.自主事業 I (音楽)コース

45.宮崎県	たかよし かなみ	公益財団法人宮崎県立芸術劇場 企画広報課 企画制作係 音楽事業担当	宮崎県立芸術劇場	
	高吉 加奈美		開館年	1993年
No. 17	〒 880-8557 宮崎県宮崎市船塚3丁目210番地 TEL 0985-28-3208 / FAX 0985-20-6670		アイザックスターンホール	1818席
			演劇ホール	1112席
			イベントホール	300席
			自主事業	d. 21本以上 事業予算 f. 1億円以上

【参加者名簿】

3.自主事業Ⅱ(演劇)コース

03.岩手県	こぼり ようへい 小堀 陽平	西和賀町役場 西和賀町教育委員会生涯学習課 (西和賀文化創造館銀河ホール)地域おこし協力隊	西和賀町文化創造館 開館年 1993年 銀河ホール 338席
	No. 1 〒 029-5511 岩手県和賀郡西和賀町上野々39地割195-2 TEL 0197-82-3240 / FAX 0197-82-2883		- - 自主事業 b. 1本~10本 事業予算 b. 1円~1,000万円未満
07.福島県	なかの としかず 中野 寿一	いわき芸術文化交流館アリオス 施設管理課 施設サービスグループ	いわき芸術文化交流館アリオス 開館年 2008年 大ホール 1705席 中劇場 687席 小劇場 233席
	No. 2 〒 970-8026 福島県いわき市平字三崎1番地の6 TEL 0246-22-8111 / FAX 0246-22-8181		自主事業 d. 21本以上 事業予算 f. 1億円以上
08.茨城県	さくらい まさき 櫻井 正樹	小美玉市役所 市民生活部 生活文化課 係長	小美玉市小川文化センター(アピオス) 開館年 1982年 大ホール 1200席 小ホール 300席
	No. 3 〒 311-3423 茨城県小美玉市小川225番地 TEL 0299-58-0921 / FAX 0299-58-0923		自主事業 c. 11本~20本 事業予算 c. 1,000万円~3,000万円未満
09.栃木県	まえざわ ゆうき 前澤 祐基	公益財団法人とちぎ未来づくり財団 文化振興課 主事	栃木県総合文化センター 開館年 1991年 メインホール 1604席 サブホール 584席 ギャラリー1~4 145.9~565.2㎡
	No. 4 〒 320-8530 栃木県宇都宮市本町1-8栃木県総合文化センター内 TEL 028-643-1010 / FAX 028-643-1012		自主事業 d. 21本以上 事業予算 e. 5,000万円~1億円未満
10.群馬県	はやし きよみ 林 享美	公益財団法人群馬県教育文化事業団 事業課 主事	群馬県民会館 開館年 1971年 大ホール 1997席 小ホール 499席
	No. 5 〒 371-0017 群馬県前橋市日吉町1-10-1 TEL 027-232-1111 / FAX 027-232-1115		自主事業 b. 1本~10本 事業予算 c. 1,000万円~3,000万円未満
11.埼玉県	きくち としたか 菊地 俊孝	公益財団法人東松山文化まちづくり公社 総務・文化事業グループ リーダー	- 開館年 - -
	No. 6 〒 355-0017 埼玉県東松山市松葉町1-2-3 TEL 0493-24-6080 / FAX 0493-24-9909		- - 自主事業 b. 1本~10本 事業予算 c. 1,000万円~3,000万円未満
13.東京都	よねやま こう 米山 昂	公益財団法人としま未来文化財団 みらい文化課プランセクション	- 開館年 - -
	No. 7 〒 170-0013 東京都豊島区東池袋1-20-10 TEL 03-3590-7118 / FAX 03-3984-0865		- - 自主事業 d. 21本以上 事業予算 d. 3,000万円~5,000万円未満
15.新潟県	いまい みさこ 今井 美沙子	公益財団法人新潟市芸術文化振興財団 (新潟市民芸術文化会館) 事業企画部 演劇企画課	りゅーとびあ 新潟市民芸術文化会館 開館年 1998年 コンサートホール 1884席 劇場 868席 能楽堂 382席
	No. 8 〒 951-8132 新潟県新潟市中央区一番堀通町3番地2(白山公園内) TEL 025-224-5614 / FAX 025-224-5626		自主事業 d. 21本以上 事業予算 f. 1億円以上

【参加者名簿】

3.自主事業Ⅱ(演劇)コース

20.長野県	うえまつ えり 上松 愛里	株式会社地域文化創造 技術部	茅野市民館 開館年 2005年
	No. 9 〒 391-0002 長野県茅野市塚原一丁目1番1号 TEL 0266-82-8222 / FAX 0266-82-8223		マルチホール 780席 コンサートホール 300席 アトリエ 200㎡ 自主事業 c. 11本~20本 事業予算 d. 3,000万円~5,000万円未満
20.長野県	いとう さゆき 伊藤 早由	特定非営利活動法人 Js文化フォーラム 企画・庶務	東御市文化会館 開館年 1991年
	No. 10 〒 389-0515 長野県東御市常田505-1 TEL 0268-62-3700 / FAX 0268-62-3262		大ホール 762席 - - 自主事業 c. 11本~20本 事業予算 c. 1,000万円~3,000万円未満
21.岐阜県	さいとう えいこ 齋藤 英子	公益財団法人可児市文化芸術振興財団 顧客コミュニケーション室・主任	可児市文化創造センター(ala) 開館年 2002年
	No. 11 〒 509-0203 岐阜県可児市下恵土3433-139 TEL 0574-60-3311 / FAX 0574-60-3312		主劇場 1019席 小劇場 311席 - 自主事業 d. 21本以上 事業予算 f. 1億円以上
23.愛知県	おおはし れい 大橋 玲	公益財団法人豊橋文化振興財団 穂の国とよはし芸術劇場PLAT(プラット) 事業制作部	穂の国とよはし芸術劇場PLAT(プラット) 開館年 2013年
	No. 12 〒 440-0887 愛知県豊橋市西小田原町123番地 TEL 0532-39-8810 / FAX 0532-55-8192		主ホール 778席 アールスペース 266席 - 自主事業 d. 21本以上 事業予算 f. 1億円以上
23.愛知県	こじま かいと 児嶋 界人	公益財団法人豊田市文化振興財団 文化部 豊田市民文化会館 主事	豊田市民文化会館 開館年 1981年
	No. 13 〒 471-0035 愛知県豊田市小坂町12-100 TEL 0565-31-8804 / FAX 0565-35-4801		大ホール 1708席 小ホール 436席 - 自主事業 b. 1本~10本 事業予算 c. 1,000万円~3,000万円未満
23.愛知県	てらしま かな 寺嶋 佳奈	長久手市文化の家 事業係 主事	長久手市文化の家 開館年 1998年
	No. 14 〒 480-1166 愛知県長久手市野田農201番地 TEL 0561-61-3411 / FAX 0561-61-2510		森のホール 819席 風のホール 300席 - 自主事業 d. 21本以上 事業予算 e. 5,000万円~1億円未満
23.愛知県	ほった みちよ 堀田 美千代	特定非営利活動法人武豊文化創造協会 事務局	ゆめたろうプラザ(武豊町民会館) 開館年 2004年
	No. 15 〒 470-2555 愛知県知多郡武豊町字大門田11 TEL 0569-74-1211 / FAX 0569-74-1227		輝きホール 678席 響きホール 230席 - 自主事業 d. 21本以上 事業予算 c. 1,000万円~3,000万円未満
24.三重県	こばやし ゆりか 小林 由梨佳	公益財団法人三重県文化振興事業団 三重県文化会館 事業課 演劇事業係	三重県総合文化センター 三重県文化会館 開館年 1994年
	No. 16 〒 514-0061 三重県津市一身田上津部田1234 TEL 059-233-1100 / FAX 059-233-1106		大ホール 1903席 中ホール 968席 小ホール 285席 自主事業 d. 21本以上 事業予算 f. 1億円以上

【参加者名簿】

3.自主事業Ⅱ(演劇)コース

26.京都府	たに りゅういち 谷 竜一	公益財団法人 京都市芸術文化協会 アート・コーディネーター	京都芸術センター	
			開館年	2000年
No. 17	〒 604-8156 京都府京都市中京区室町通蛸薬師下る山伏山町546-2 TEL 075-213-1000 / FAX 075-213-1004		講堂	300席
			フリースペース	200席
			-	-
			自主事業	d. 21本以上 事業予算 d. 3,000万円~5,000万円未満
40.福岡県	やまなか なおこ 山中 直子	公益財団法人北九州市芸術文化振興財団 舞台事業課	北九州芸術劇場	
			開館年	2003年
No. 18	〒 803-0812 福岡県北九州市小倉北区室町1丁目1-11 TEL 093-562-2620 / FAX 093-562-2633		大ホール	1269席
			中劇場	700席
			小劇場	96~216席
			自主事業	d. 21本以上 事業予算 f. 1億円以上

ステージラボ豊田セッション参加者リスト

都道府県名	ふりがな	所属	担当施設名	
	参加者氏名	職名	開館年	
No.	所属住所		ホール1	座席数
			ホール2	座席数
	TEL/FAX		ホール3	座席数
			自主事業	事業予算

【参加者名簿】

1.ホール入門コース

01.北海道	つかだ のい 塚田 野衣	公益財団法人札幌市芸術文化財団 教育文化会館事業部管理課業務係	札幌市教育文化会館 開館年 1977 年 大ホール 3008㎡ 小ホール 990㎡ 研修室8室 - 自主事業 d. 21本以上 事業予算 c. 1,000万円～3,000万円未満
	No. 1 〒 060-0001 北海道札幌市中央区北1条西13丁目 TEL 011-271-5821 / FAX 011-271-1916		
01.北海道	はら のりこ 原 則子	NPO法人はまなすアート&ミュージック・プロダクション 総務・受付	岩見沢市民会館・文化センター 開館年 2005 年 大ホール 1721.25㎡ - - - - 自主事業 c. 11本～20本 事業予算 d. 3,000万円～5,000万円未満
	No. 2 〒 068-0029 北海道岩見沢市9条西4丁目1-1 TEL 0126-22-4233 / FAX 011-351-2556		
07.福島県	まつなが あゆ 松永 安由	いわき芸術文化交流館アリオス 施設管理課 施設サービスグループ 嘱託職員	いわき芸術文化交流館アリオス 開館年 2008 年 大ホール 9190.18㎡ 中劇場 4405.59㎡ 小劇場 2174.43㎡ 自主事業 d. 21本以上 事業予算 f. 1億円以上
	No. 3 〒 970-8026 福島県いわき市平字三崎1番地の6 TEL 0246-22-8111 / FAX 0246-22-8181		
14.神奈川県	はんだ もえ 半田 萌	公益財団法人横須賀芸術文化財団 業務部 事業課 担当	横須賀芸術劇場 開館年 1994 年 よこすか芸術劇場 19,050㎡ ヨコスカ・ベイサイド・ポケット 4,290㎡ - - 自主事業 d. 21本以上 事業予算 f. 1億円以上
	No. 4 〒 238-0041 神奈川県横須賀市本町3-27 TEL 046-828-1602 / FAX 046-828-1623		
15.新潟県	たにざわ りか 谷沢 理佳	新潟市北区文化会館 事業担当	新潟市北区文化会館 開館年 2010 年 新潟市北区文化会館 ホール 823㎡ - - - - 自主事業 c. 11本～20本 事業予算 c. 1,000万円～3,000万円未満
	No. 5 〒 950-3323 新潟県新潟市北区東栄町1-1-5 TEL 025-388-6900 / FAX 025-388-6901		
18.福井県	みねた ありさ 峯田 亜莉紗	公益財団法人越前市文化振興・施設管理事業団 事業振興課 技師	越前市文化センター 開館年 1980 年 大ホール 2,300㎡ 小ホール 283㎡ - - 自主事業 b. 1本～10本 事業予算 b. 1円～1,000万円未満
	No. 6 〒 915-0832 福井県越前市高瀬二丁目3番3号 TEL 0778-23-5057 / FAX 0778-21-1975		
22.静岡県	いいだ あやか 飯田 彩加	公益財団法人静岡市文化振興財団 静岡音楽館AOI・嘱託職員	静岡音楽館AOI 開館年 1995 年 ホール 656㎡ 講堂 約340㎡ リハーサル室1、2 約100㎡ 自主事業 c. 11本～20本 事業予算 e. 5,000万円～1億円未満
	No. 7 〒 420-0851 静岡県静岡市葵区黒金町1-9 TEL 054-251-2200 / FAX 054-253-3322		
22.静岡県	おちあい まさる 落合 優	公益財団法人焼津市振興公社 文化事業部 文化振興課 主事	焼津市焼津文化会館 開館年 1985 年 大ホール 2197㎡ 小ホール 989㎡ - - 自主事業 d. 21本以上 事業予算 e. 5,000万円～1億円未満
	No. 8 〒 425-8585 静岡県焼津市三ヶ名1550 TEL 054-627-3111 / FAX 054-628-5176		

【参加者名簿】

1.ホール入門コース

23.愛知県	ふかつ えりか 深津 恵利佳	一般社団法人岡崎パブリックサービス 会館事業部 会館施設1課	岡崎市民会館 開館年 1967 年 あおいホール 1,100席 甲山会館 300席
	No. 9	〒 444-0072 愛知県岡崎市六供町字出崎15番地1 TEL 0564-21-9121 / FAX 0564-21-6973	- 自主事業 b. 1本~10本 事業予算 b. 1円~1,000万円未満
23.愛知県	ふじた のりこ 藤田 記子	豊川市 市民部文化振興課 主任	豊川市文化会館 開館年 1978 年 豊川市文化会館大ホール 2,001㎡ 豊川市文化会館中ホール 590㎡
	No. 10	〒 442-0841 愛知県豊川市代田町1-20-4 TEL 0533-84-8411 / FAX 0533-84-8412	- 自主事業 d. 21本以上 事業予算 c. 1,000万円~3,000万円未満
23.愛知県	なかね ふみよし 中根 史義	公益財団法人豊田市文化振興財団 豊田市コンサートホール・能楽堂	豊田市コンサートホール・能楽堂 開館年 1998 年 豊田市コンサートホール 9407.53㎡ 豊田市能楽堂 2,148.47㎡ 多目的ルーム 90㎡
	No. 11	〒 471-0025 愛知県豊田市西町1-200 TEL 0565-35-8200 / FAX 0565-37-0011	自主事業 d. 21本以上 事業予算 f. 1億円以上
23.愛知県	ほしあい ちひろ 星合 ちひろ	長久手市文化の家 管理係 主事	長久手市文化の家 開館年 1998 年 森のホール 1,300㎡ 風のホール 900㎡ 光のホール 100㎡
	No. 12	〒 480-1166 愛知県長久手市野田農201番地 TEL 0561-61-3411 / FAX 0561-61-2510	自主事業 d. 21本以上 事業予算 d. 3,000万円~5,000万円未満
27.大阪府	ながお あき 永尾 暁	公益財団法人堺市文化振興財団 堺市民芸術文化ホール準備室	堺市民芸術文化ホール 開館年 2019 年 大ホール(面積は楽屋は除く) 約4,455㎡ 小ホール(面積は楽屋は除く) 約695㎡ 大スタジオ 290㎡
	No. 13	〒 590-0946 大阪府堺市堺区熊野町東4丁4-20 林ビル5階 TEL 072-232-0220 / FAX 072-228-0115	自主事業 d. 21本以上 事業予算 f. 1億円以上
28.兵庫県	やまだ えりか 山田 絵梨香	(公財)兵庫県芸術文化協会 兵庫県立芸術文化センター 事業部制作担当課(音楽事業)	兵庫県立芸術文化センター 開館年 2005 年 KOBELCO大ホール 681.5㎡ 阪急中ホール 307.8㎡ 神戸女学院小ホール 67.2㎡
	No. 14	〒 663-8204 兵庫県西宮市高松町2番22号 TEL 0798-68-0223 / FAX 0798-68-0212	自主事業 d. 21本以上 事業予算 f. 1億円以上
28.兵庫県	こんどう りょうこ 近藤 遼子	公益財団法人伊丹市文化振興財団 いたみホール事業担当	いたみホール(伊丹市立文化会館) 開館年 1998 年 大ホール 1668.3㎡ 中ホール 230㎡ 多目的ホール 180㎡
	No. 15	〒 664-0895 兵庫県伊丹市宮ノ前1丁目1番3号 TEL 072-778-8788 / FAX 072-778-8585	自主事業 d. 21本以上 事業予算 d. 3,000万円~5,000万円未満
28.兵庫県	まつだ けんご 松田 健吾	特定非営利活動法人コミュニティアートセンターブラッツ -	豊岡市民プラザ 開館年 2004 年 ほっとステージ(舞台面積を表記) 145㎡ リハーサル室 102㎡ 市民活動室 75㎡
	No. 16	〒 668-0031 兵庫県豊岡市大手町4番5号 アイティ7階 TEL 0796-24-3000 / FAX 0796-24-3004	自主事業 c. 11本~20本 事業予算 c. 1,000万円~3,000万円未満

【参加者名簿】

1.ホール入門コース

31.鳥取県	のつ しおり 野津 志織	公益財団法人とっとりコンベンションビューロー 米子コンベンションセンター サービス課 主事	米子コンベンションセンター 開館年 1998 年 多目的ホール 2,004席 小ホール 300席 国際会議室 360席 自主事業 b. 1本~10本 事業予算 b. 1円~1,000万円未満
	No. 17	〒 683-0043 鳥取県米子市末広町294 TEL 0859-35-8111 / FAX 0859-39-0700	
34.広島県	うまやはら さとし 馬屋原 哲司	三次市民ホールきりり 事業・運営グループ	三次市民ホールきりり 開館年 2014 年 きりり 1,006席 サロンホール 160㎡ - 自主事業 b. 1本~10本 事業予算 c. 1,000万円~3,000万円未満
	No. 18	〒 728-0021 広島県三次市三次町111-1 TEL 0824-62-2222 / FAX 0824-62-2230	
40.福岡県	むらかみ えみ 村上 絵美	公益財団法人北九州市芸術文化振興財団 北九州芸術劇場 舞台事業課	北九州芸術劇場 開館年 2003 年 大ホール 1,269席 中劇場 700席 小劇場 96~216席 自主事業 d. 21本以上 事業予算 f. 1億円以上
	No. 19	〒 803-0812 福岡県北九州市小倉北区室町一丁目1番1号11 TEL 093-562-2620 / FAX 093-562-2633	
43.熊本県	なかの もえ 中野 萌	公益財団法人熊本県立劇場 ホール課施設利用班主事	熊本県立劇場 開館年 1982 年 コンサートホール 1260㎡ 演劇ホール 780㎡ 大会議室 390㎡ 自主事業 d. 21本以上 事業予算 f. 1億円以上
	No. 20	〒 862-0971 熊本県熊本市中央区大江2丁目7番1号 TEL 096-363-2233 / FAX 096-371-5246	

【参加者名簿】

2.自主事業I(音楽)コース

01.北海道	かとう まさひろ 加藤 正浩	公益財団法人札幌市芸術文化財団 本郷新記念札幌彫刻美術館 業務係	本郷新記念札幌彫刻美術館 開館年 2018 年 札幌市民交流プラザ 札幌文化芸術劇場 2,300席
	No. 1 〒 064-0954 北海道札幌市中央区宮の森4条12丁目 TEL 011-642-5709 / FAX 011-616-0900		札幌市民交流プラザ オープンスタジオ 可動席160席 札幌市民交流プラザ 大練習室 180席 自主事業 a. 0本 事業予算 a. 0円
03.岩手県	さとう かずひろ 佐藤 和弘	宮古市民文化会館 業務主任兼プロデューサー	宮古市民文化会館 開館年 1976 年 大ホール 1,012席
	No. 2 〒 027-0023 岩手県宮古市磯鶏沖2-22 TEL 0193-63-2511 / FAX 0193-64-5445		中ホール 250㎡ 展示室 250㎡ 自主事業 b. 1本~10本 事業予算 c. 1,000万円~3,000万円未満
03.岩手県	さいとう りえ 齋藤 莉慧	一般財団法人北上市文化創造 企画事業課	北上市文化交流センターさくらホール 開館年 2011 年 大ホール 1,310席
	No. 3 〒 024-0084 岩手県北上市さくら通り二丁目1番1号 TEL 0197-61-3300 / FAX 0197-61-3301		中ホール 450席 小ホール 225.9㎡ 自主事業 d. 21本以上 事業予算 e. 5,000万円~1億円未満
07.福島県	ささき ふみや 佐々木 郁哉	特定非営利活動法人カルチャーネットワーク 事業担当	白河文化交流館コミネス 開館年 2016 年 大ホール 1,108席
	No. 4 〒 961-0075 福島県白河市会津町1番地17 TEL 0248-23-5300 / FAX 0248-23-5315		小ホール 321席 - 自主事業 d. 21本以上 事業予算 f. 1億円以上
08.茨城県	いはら ゆき 井原 由紀	公益財団法人日立市民科学文化財団 主事	日立シビックセンター 開館年 1990 年 音楽ホール 780㎡
	No. 5 〒 317-0073 茨城県日立市幸町1-21-1 TEL 0294-24-7755 / FAX 0294-24-7979		多用途ホール 256㎡ - 自主事業 d. 21本以上 事業予算 f. 1億円以上
09.栃木県	みた まなみ 三田 真奈美	公益財団法人足利市みどり文化・スポーツ財団 足利市民会館事業企画担当 主事	足利市民会館 開館年 1966 年 大ホール 4375.88㎡
	No. 6 〒 326-0051 栃木県足利市大橋町1丁目2007-3 TEL 0284-44-6886 / FAX 0284-43-1246		小ホール 312.48㎡ 別館ホール 358.7㎡ 自主事業 d. 21本以上 事業予算 f. 1億円以上
11.埼玉県	なかやま ちえ 中山 智恵	公益財団法人東松山文化まちづくり公社 総務・文化事業グループ	- 開館年 - -
	No. 7 〒 355-0017 埼玉県東松山市松葉町1-2-3 TEL 0493-24-6080 / FAX 0493-24-9909		- - 自主事業 - 事業予算 -
13.東京都	いのうえ はるよ 井上 陽代	公益財団法人目黒区芸術文化振興財団 事業係	めぐろパーシモンホール 開館年 2002 年 大ホール 1,055㎡
	No. 8 〒 152-0023 東京都目黒区八雲1-1-1 TEL 03-5701-2924 / FAX 03-5701-2968		小ホール 190㎡ - 自主事業 d. 21本以上 事業予算 d. 3,000万円~5,000万円未満

【参加者名簿】

2.自主事業I(音楽)コース

14.神奈川県	くわの だいち 桑野 大地	公益財団法人神奈川芸術文化財団 音楽堂 業務課 主事	神奈川県立音楽堂 開館年 1954 年 神奈川県立音楽堂 2295.49㎡
	No. 9	〒 220-0044 神奈川県横浜市西区紅葉ヶ丘9-2 TEL 045-263-2567 / FAX 045-243-6216	- - 自主事業 c. 11本~20本 事業予算 e. 5,000万円~1億円未満
16.富山県	うらもと しほ 浦本 詩帆	公益財団法人黒部市国際文化センター 黒部市国際文化センター 主事	黒部市国際文化センター 開館年 1995 年 カーターホール(大ホール) 500㎡ マルチホール(小ホール) 240㎡
	No. 10	〒 938-0031 富山県黒部市三日市20 TEL 0765-57-1201 / FAX 0765-57-1207	- - 自主事業 d. 21本以上 事業予算 c. 1,000万円~3,000万円未満
23.愛知県	いとう ひろたか 伊藤 寛隆	公益財団法人かすがい市民文化財団 施設サービスグループ	春日井市民会館/春日井市文芸館 開館年 1966 年 春日井市民会館 2,366㎡ 春日井市文芸館・視聴覚ホール 274㎡
	No. 11	〒 486-0844 愛知県春日井市鳥居松町5-44 TEL 0568-85-6868 / FAX 0568-82-0213	- - 自主事業 d. 21本以上 事業予算 e. 5,000万円~1億円未満
23.愛知県	まつい こずえ 松井 梢	豊川市 市民部文化振興課 主任	豊川市文化会館 開館年 1978 年 豊川市文化会館大ホール 2,001㎡ 豊川市文化会館中ホール 590㎡
	No. 12	〒 442-0841 愛知県豊川市代田町1-20-4 TEL 0533-84-8411 / FAX 0533-84-8412	- - 自主事業 d. 21本以上 事業予算 c. 1,000万円~3,000万円未満
23.愛知県	かとう よういち 加藤 陽一	公益財団法人豊田市文化振興財団 豊田市コンサートホール・能楽堂	豊田市コンサートホール・能楽堂 開館年 1998 年 コンサートホール 9,407.53㎡ 能楽堂 2,148.47㎡ 多目的ルーム 90㎡
	No. 13	〒 471-0025 愛知県豊田市西町1丁目200番地 TEL 0565-35-8200 / FAX 0565-37-0011	- - 自主事業 d. 21本以上 事業予算 f. 1億円以上
27.大阪府	やまだ まりえ 山田 真里江	公益財団法人八尾市文化振興事業団 総合企画事業班 企画制作スタッフ	八尾市文化会館プリズムホール 開館年 1988 年 大ホール(プリズムホール) 1,440席 小ホール 390席 レセプションホール 213.6㎡
	No. 14	〒 581-0803 大阪府八尾市光町2-40 TEL 072-924-5112 / FAX 072-924-5010	- - 自主事業 d. 21本以上 事業予算 e. 5,000万円~1億円未満
28.兵庫県	なかた まこと 中田 信	公益財団法人姫路市文化国際交流財団 振興課 主事	姫路市文化センター 開館年 1972 年 大ホール 4,861㎡ 小ホール 955㎡
	No. 15	〒 670-8544 兵庫県姫路市西延末426番地1(姫路市文化センター内) TEL 079-298-8014 / FAX 079-293-7300	- - 自主事業 c. 11本~20本 事業予算 d. 3,000万円~5,000万円未満
28.兵庫県	まつもと ももか 松本 百花	(公財)兵庫県芸術文化協会 兵庫県立芸術文化センター 事業部 普及事業	兵庫県立芸術文化センター 開館年 2005 年 KOBELCO大ホール 681.5㎡ 阪急中ホール 307.8㎡ 神戸女学院小ホール 67.2㎡
	No. 16	〒 663-8204 兵庫県西宮市高松町2番22号 TEL 0798-68-0223 / FAX 0798-68-0212	- - 自主事業 d. 21本以上 事業予算 f. 1億円以上

【参加者名簿】

2.自主事業I(音楽)コース

28.兵庫県	さわの ひろみ 澤野 宏美	公益財団法人 伊丹市文化振興財団 伊丹アイフォニックホール(伊丹市立音楽ホール)	伊丹アイフォニックホール(伊丹市立音楽ホール)
			開館年 1991 年
No. 17	〒 664-0895 兵庫県伊丹市宮ノ前1-3-30 TEL 072-780-2110 / FAX 072-780-2120		メインホール 720㎡
			小ホール1 120㎡
			小ホール2 120㎡
			自主事業 d. 21本以上 事業予算 c. 1,000万円~3,000万円未満
31.鳥取県	うるしばら たかえ 漆原 孝枝	公益財団法人鳥取県文化振興財団 施設利用課 主事	鳥取県立県民文化会館(とりぎん文化会館)
			開館年 1993 年
No. 18	〒 680-0017 鳥取県鳥取市尚徳町101-5 TEL 0857-21-8700 / FAX 0857-21-8705		梨花ホール 2,100㎡
			小ホール 480㎡
			第1会議室 235㎡
			自主事業 b. 1本~10本 事業予算 f. 1億円以上
31.鳥取県	いいだ あかね 飯田 茜	公益財団法人鳥取県文化振興財団 鳥取県立倉吉未来中心	鳥取県立倉吉未来中心
			開館年 2001 年
No. 19	〒 682-0816 鳥取県倉吉市駄経寺町212-5 TEL 0858-23-5390 / FAX 0858-47-0255		大ホール 1,503席
			小ホール 210㎡
			-
			自主事業 c. 11本~20本 事業予算 b. 1円~1,000万円未満
33.岡山県	たぶち さやか 田淵 彩弥香	公益財団法人岡山シンフォニーホール 文化事業部	岡山シンフォニーホール
			開館年 1991 年
No. 20	〒 700-0822 岡山県岡山市北区表町1-5-1 TEL 086-234-2001 / FAX 086-234-1968		大ホール 2,001席
			イベントホール 200席
			-
			自主事業 d. 21本以上 事業予算 f. 1億円以上
34.広島県	うえむかい たかえ 上向 孝枝	公益財団法人広島市文化財団 南区民文化センター	広島市南区民文化センター
			開館年 1990 年
No. 21	〒 732-0816 広島県広島市南区比治山本町16番27号 TEL 082-251-4120 / FAX 082-256-8811		ホール 302㎡
			スタジオ 34㎡
			-
			自主事業 c. 11本~20本 事業予算 b. 1円~1,000万円未満
40.福岡県	たていし さとこ 立石 聡子	北九州市芸術文化振興財団 音楽事業課	北九州市立響ホール
			開館年 1993 年
No. 22	〒 805-0062 福岡県北九州市八幡東区1-1-1響ホール内 TEL 093-663-6661 / FAX 093-662-3028		北九州市立響ホール 171㎡
			-
			-
			自主事業 c. 11本~20本 事業予算 d. 3,000万円~5,000万円未満

【参加者名簿】

3.自主事業Ⅱ(演劇)コース

01.北海道	みうら ひろき 三浦 弘樹	公益財団法人札幌市芸術文化財団 芸術の森事業部 事業課事業係 事務職員	札幌芸術の森 開館年 1986 年 野外ステージ 1,416㎡
	No. 1 〒 005-0864 北海道札幌市南区芸術の森2丁目75番地 TEL 011-592-4125 / FAX 011-592-4120		アートホール アリーナ 645㎡ アートホール 大練習室 488㎡ 自主事業 d. 21本以上 事業予算 f. 1億円以上
07.福島県	ながぬま えりこ 永沼 絵莉子	いわき芸術文化交流館アリオス 経営総務課 広報グループ 嘱託職員	いわき芸術文化交流館アリオス 開館年 2008 年 大ホール 9190.18㎡
	No. 2 〒 970-8026 福島県いわき市平字三崎1番地の6 TEL 0246-22-8111 / FAX 0246-22-8181		中劇場 4405.59㎡ 小劇場 2174.43㎡ 自主事業 d. 21本以上 事業予算 f. 1億円以上
09.栃木県	みねぎし あつき 峰岸 宏樹	公益財団法人足利市みどり文化・スポーツ財団 足利市民プラザ・事業企画担当 主事	足利市民プラザ 開館年 1981 年 足利市民プラザ文化ホール 826席
	No. 3 〒 326-0823 栃木県足利市朝倉町264 TEL 0284-72-8511 / FAX 0284-72-7278		足利市民プラザ小ホール 468㎡ - - 自主事業 c. 11本~20本 事業予算 d. 3,000万円~5,000万円未満
11.埼玉県	すずき かずゆき 鈴木 和幸	公益財団法人東松山文化まちづくり公社 総務・文化事業グループ	- 開館年 - - - - - 自主事業 - 事業予算 -
	No. 4 〒 355-0017 埼玉県東松山市松葉町1-2-3 TEL 0493-24-6080 / FAX 0493-24-9909		
22.静岡県	まつだ もとむ 松田 求	公益財団法人静岡市文化振興財団 -	静岡市民文化会館 開館年 1978 年 大ホール 舞台規模:380㎡
	No. 5 〒 422-0856 静岡県静岡市葵区駿府町2番90号 TEL 054-251-3751 / FAX 054-251-9219		中ホール 舞台規模:295.2㎡ 大会議室(小ホール兼用) 舞台規模:31.5㎡ 自主事業 c. 11本~20本 事業予算 d. 3,000万円~5,000万円未満
22.静岡県	つかもと ひろとし 塚本 広俊	公益財団法人静岡県舞台芸術センター(SPAC) 制作部	静岡県舞台芸術公園 開館年 1997 年 静岡芸術劇場 (舞台上)16.2×16.3㎡
	No. 6 〒 422-8005 静岡県静岡市駿河区池田79-4 TEL 054-203-5730 / FAX 054-203-5732		野外劇場「有度」 (舞台上)13.8×16.71㎡ 屋内ホール「楕円堂」 (舞台上)15.7×7.23㎡ 自主事業 d. 21本以上 事業予算 f. 1億円以上
23.愛知県	たかだ しょうこ 高田 装子	公益財団法人豊橋文化振興財団 穂の国とよはし芸術劇場PLAT 事業制作部	穂の国とよはし芸術劇場PLAT 開館年 2013 年 主ホール 237.8㎡
	No. 7 〒 440-0887 愛知県豊橋市西小田原町123 TEL 0532-39-8810 / FAX 0532-55-8192		アートスペース 139.5㎡ - - 自主事業 c. 11本~20本 事業予算 f. 1億円以上
23.愛知県	おはら ひろあき 小原 寛明	豊川市 市民部文化振興課 課長補佐	豊川市文化会館 開館年 1978 年 豊川市文化会館大ホール 2,001㎡
	No. 8 〒 422-0841 愛知県豊川市代田町1-20-4 TEL 0533-84-8411 / FAX 0533-84-8412		豊川市文化会館中ホール 590㎡ - - 自主事業 d. 21本以上 事業予算 c. 1,000万円~3,000万円未満

【参加者名簿】

3.自主事業Ⅱ(演劇)コース

23.愛知県	しばた えり 柴田 依里	公益財団法人豊田市文化振興財団 文化事業課 主査	豊田市民文化会館
			開館年 1975 年
No. 9	〒 471-0035 愛知県豊田市小坂町12-100 TEL 0565-31-8804 / FAX 0565-35-4801		大ホール 1,708席
			小ホール 436席
			展示室A 593㎡
			自主事業 b. 1本~10本 事業予算 b. 1円~1,000万円未満
23.愛知県	いながき くるみ 稲垣 胡桃	公益財団法人豊田市文化振興財団 文化部 文化事業課 書記	豊田市民文化会館
			開館年 1975 年
No. 10	〒 471-0035 愛知県豊田市小坂町12-100 TEL 0565-31-8804 / FAX 0565-35-4801		大ホール 1,708席
			小ホール 436席
			展示室A 593㎡
			自主事業 b. 1本~10本 事業予算 b. 1円~1,000万円未満
23.愛知県	つげ じゅんぺい 柘植 純平	公益財団法人豊田市文化振興財団 文化部 文化事業課 書記	豊田市民文化会館
			開館年 1981 年
No. 11	〒 471-0035 愛知県豊田市小坂町12-100 TEL 0565-31-8804 / FAX 0565-35-4801		大ホール 1,708席
			小ホール 436席
			展示室A 593㎡
			自主事業 d. 21本以上 事業予算 c. 1,000万円~3,000万円未満
25.滋賀県	あんど う こずえ 安藤 こず恵	長浜市 市民協働部文化スポーツ課 主幹	長浜文化芸術会館
			開館年 1975 年
No. 12	〒 526-8501 滋賀県長浜市八幡東町632 TEL 0749-65-8787 / FAX 749-65-6571		大ホール 300㎡
			-
			-
			自主事業 b. 1本~10本 事業予算 b. 1円~1,000万円未満
28.兵庫県	にいくら ななこ 新倉 奈々子	公益財団法人兵庫県芸術文化協会 劇団部	兵庫県立尼崎青少年創造劇場
			開館年 1978 年
No. 13	〒 661-0012 兵庫県尼崎市南塚口町3-17-8 TEL 06-6426-1940 / FAX 06-6426-1943		大ホール 977㎡
			中ホール 225㎡
			小ホール 178㎡
			自主事業 d. 21本以上 事業予算 f. 1億円以上
28.兵庫県	いば りょう 射場 亮	公益財団法人神戸市民文化振興財団 事業一部 自主事業チーム	神戸文化ホール
			開館年 1973 年
No. 14	〒 650-0017 兵庫県神戸市中央区楠町4丁目2-2 TEL 078-351-3535 / FAX 078-351-3121		大ホール 2,270㎡
			中ホール 1,340㎡
			-
			自主事業 d. 21本以上 事業予算 f. 1億円以上
28.兵庫県	かとう ちえ 加藤 千恵	公益財団法人宝塚市文化財団 事業課 係員	-
			開館年 -
No. 15	〒 665-0845 兵庫県宝塚市栄町2丁目1番1号 ソリオ1-3F TEL 0797-85-8844 / FAX 0797-85-8873		-
			-
			-
			自主事業 d. 21本以上 事業予算 e. 5,000万円~1億円未満
40.福岡県	そのい つばさ 園井 翼	公益財団法人久留米文化振興会 施設課施設利用推進係	石橋文化センター
			開館年 石橋文化ホール1963年 / 文化センター共同ホール1985年
No. 16	〒 839-0862 福岡県久留米市野中町1015番地 TEL 0942-33-2271 / FAX 0942-39-7837		石橋文化ホール 2,189㎡
			文化センター共同ホール 767㎡
			-
			自主事業 c. 11本~20本 事業予算 c. 1,000万円~3,000万円未満

【参加者名簿】

3.自主事業II(演劇)コース

42.長崎県	えがわ しょうた	長崎市 文化振興課	長崎ブリックホール	
	江川 翔太		開館年	1998 年
No. 17	〒 852-8104 長崎県長崎市茂里町2-38 TEL 095-842-3782 / FAX 095-842-3784		大ホール	1,791㎡
			国際会議場	486㎡
			-	-
			自主事業	c. 11本~20本 事業予算 d. 3,000万円~5,000万円未満

平成28年度ステージラボ事業報告書

～ 公共ホール等企画運営ワークショップ～

編集・発行 一般財団法人地域創造
〒107-0052 東京都港区赤坂2-9-11
オリックス赤坂2丁目ビル9階
電話 03-5573-4068
ファクシ 03-5573-4060

平成29年6月発行